松前総合文化センター:文化講演会

サイエンスで読み解く古代史ミステリー

最終結論 邪馬壹国は阿波だった!

令和7年3月22日

愛媛デジタルデータソリューション協会(EDS)会長 愛媛大学大学院 地域レジリエンス学環 客員教授 気象ビジネス推進コンソーシアム副座長 (元株式会社ハレックス代表取締役社長)

越智 正昭

サイエンスで読み解く古代史ミステリー

最終結論 邪馬台国は 阿波だった!

越智正昭



版終結論 邪馬台国は阿波だった! イエンスで読み解く古代史ミステリー

越智正昭

1-7-1-EE

- 1.四国誕生の謎 理系の歴史学から見た四国の古代史
- 2.魏志倭人伝とは
- 3.地形と気象から読み解く邪馬壹国までの経路
- 4.倭国の風俗から読み解く邪馬壹国
- 5.倭国滅亡の謎 南海トラフを震源とした超巨大地震『白鳳大地震』の記憶
- 6. 三世紀当時の丸亀周辺
- 7.さいごに:渡来人の謎/戦艦扶桑の謎

# 理系の歴史学…歴史学のDX (Digital Transformation)



気象情報会社ハレックス Officialブログ 『越智社長のおちゃめ日記』



愛媛新聞オンライン会員制WebサイトE4 コラム『晴れ時々ちょっと横道』

世の中の最底辺のインフラは"地形"と"気象"

自然(痕跡を含む)は事実!

【理系の歴史学】 地形と気象(地象)という自然科学の観点から、論理的思考で歴史の謎に迫るアプローチ

# 自然(地形、地質、気象等)は0次史料

歴史の研究は一般的に「史料」に基づいて行われます。過去に存在した事象を把握し筋道を立てるのに役立つ材料のことを「史料」と呼びます。史料は歴史家が歴史を研究・記述する際に用いるもので、紙に文字で書き記された文献や、考古学上の遺構・遺物・遺跡、イメージ史料となる絵画、写真、オーラル・ヒストリー、伝承などを含みます。



#### 【一次史料/二次史料】

一次史料とは、当事者がその時々に遺した手紙、文書、日記などを指します。 記述対象の観点から言うと、「その時に(When)」「その場で(Where)」「その 人が(Who)」の三要素を全て充たした文献を「一次史料」と呼び、そうでない ものを「二次史料」と呼びます。二次史料は第三者が記した物や、後の時代に 書かれた記録が該当します。

一次史料は信憑性が高いものが多いのですが、ただし、一次史料が必ずしも正確というわけでもありません。日記や手紙などは主観的で偏った記述であることが付き物ですし、歴史知識の乏しい人間が偏向した一次史料の記述を直接読めば誤った情報を得ることにもなりかねません。また、二次史料は一般には一次史料よりも正確性や重要性が劣るとされていますが、必ずしも信頼性に乏しいとは限らないとも言われています。



#### 【自然(地形、地質、気象等)は0次史料】

世の中の最底辺のインフラは"地形"と"気象" 自然の記録(自然災害の痕跡等)は紛れもない事実

#### 地政学

「その国のことを知りたければ、 まずその国の地理と気象を学べ」 by ヘンリー・キッシンジャー

【歴史は四次元の視点で捉える必要がある(空間軸+時間軸)】

【歴史はグローバルの視点で捉える必要がある(周辺諸国との国際情勢)】

### 「理系の歴史学」の本質

#### 広島大学工学部時代の恩師 故・吉田典可教授(後に広島市立大学初代学長)の教え

#### 1 文献は必ず原文で読め

……訳文には訳者の主観が入っている。なので、重要な情報の歪曲や欠落が数多く見られるのが一般的

(越智追加:誰かが訳した史料はそれだけで価値が1ランク下がる。1次史料→2次史料、2次史料→3次史料)

# ② 単語の真の意味を知りたければ、その語源を調べてみろ

……たとえば、コミュニケーション(Communication)」は、ラテン語で「共同の、共有の」、「義務をともに果たす」を意味するコミュニス(Communis)という単語が語源。

(越智追加:表意文字である漢字は、1字が持つ情報量は非常に 大きい)

③ 新しいことを始めようとすれば、まずこれまで信じられてきた通説や常識を"疑う"ことから始めろ

……なぜ (why) と疑問を持つことで、見えてくるものが必ずある

4 10言って1しか理解してもらえないのであれば、2言って2とも理解してもらえ

……そのためには、本質的なことを自分で理解していないといけない。聞き手に理解してもらえないのは、自分が本質を理解できていないからに過ぎない

5 議論で重要なのは、相手を説得することではなく、相手に"腑落ち"させることである

……聴いている人の腹にストンを落ちるような説明が最高に素晴らしい。そのためには、まず自分自身が腑落ちする内容でなくてはいけない。

⑥ 世の中のたいていの事象は、**論理的**にほぼ説明ができる

……(越智追加:古代の神々も人間であった。人間の能力(考えることや出来ること)は、昔も今もほとんど変わらない)

### 変革・改革を阻害する5大疾病

- (1)過去の成功体験からくる「驕り」
- (2)市場動向・顧客ニーズの変化に対する「鈍感さ」
- (3)自社(自己)中心的な「供給者発想」
- (4)過去の経験や常識に縛られた「思考停止」
- (5) 軋轢(あつれき)を避けた中途半端な「妥協主義」

DXの推進は、実はこの5大疾病との終わりなき闘い! 歴史学・古代史研究も例外ではない!

新しいムーブメント(Movement)を巻き起こす最大の原動力は ワクワク感!

### 地球の歴史



地球の誕生は 約46億年前



日本列島の形成が始まったのは約3億年前

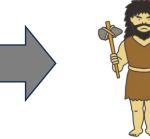
ユーラシア大陸から分かれたのが約3千万年前

現在のような海岸線が形成されたのは縄文海進が終わった約3千年前

# 人類の歴史



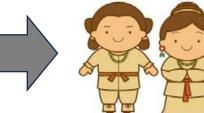
人類の誕生は 約500万年前



ホモサピエンスの誕生は約30万年前



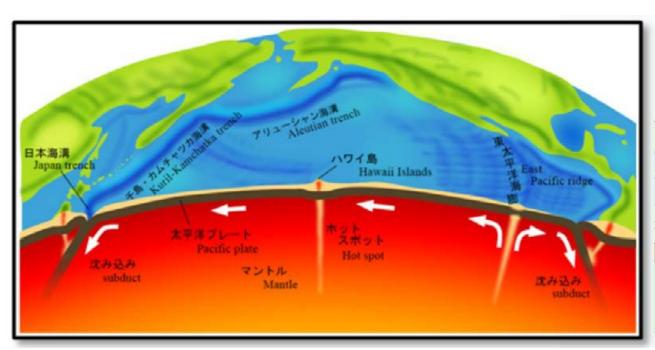
日本列島にヒトが定住を 始めたのは約3万年前



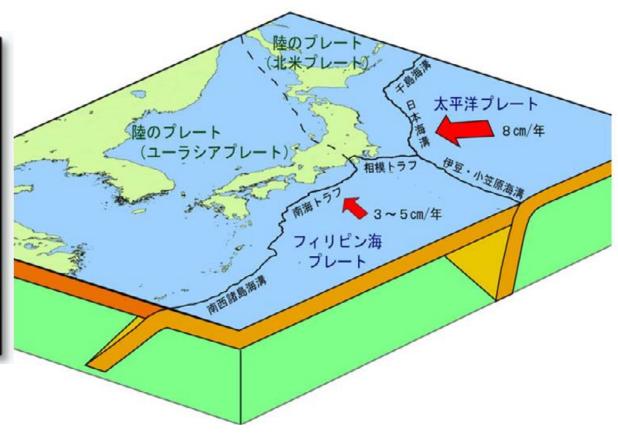
邪馬壹国の時代は わずか1,800年前

### 日本列島の起源:プレートテクトニクス

#### 日本列島付近のプレートの模式図



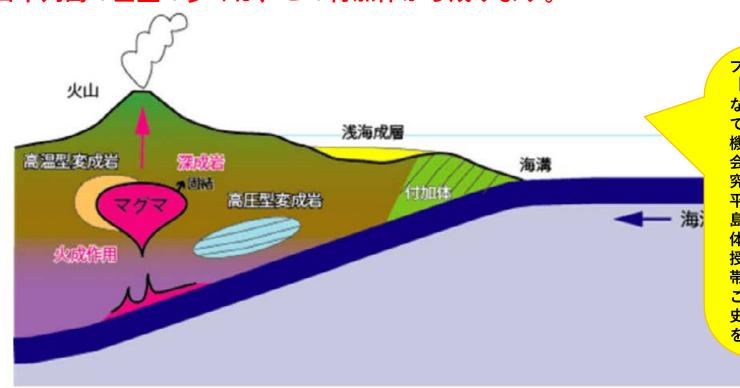
プレートテクトニクス(気象庁HP 地震発生のしくみより)



「南海トラフの地震活動の長期評価(第二版)」 (地震調査研究推進本部)より

#### 付加体

付加体とは、海洋プレートが海溝で大陸プレートの下に沈み込む際に、海洋プレートの上の堆積物や海山の断片などが剥ぎ取られ、海溝に溜まった砂や泥と一緒になって、陸側に押し付けられてできた岩石・地層群のこと。長い時間をかけて、陸側に押し上げられ続けると、それらは地表に露出します。 日本列島の基盤の多くは、この付加体から成ります。



プレートテクトニクス理論の確立、特に「付加体」の概念の確立に多大な貢献をなったのは、世界的に著名な地質学者であり、国立研究開発法人海洋研究開発機構(JAMSTEC)理事長や日本地質学会会長を歴任され、現在は東海大学海洋生で、現在は東海大学海洋生で、平先生が1990年に出版された『日本列島の誕生』(岩波新書)によると、「付加なの確立は、実は高知大学の対し、一個では、実は高知大学のが、平先生が1990年に出版された『日本列島の概念の確立は、実は高知大学の大学の概念のです。ところは地球のです。ところは地域では、世界中の地質学者の注目を集めているところなのです。

産業技術総合研究所(産総研)研究成果記事より

四国地方は、主に海洋プレート(フィリピン海プレート)が大陸プレート(ユーラシアプレート)に沈み込む環境(沈み込み帯)で形成されており、世界でも非常にまれな複雑な地質の地域になっています。特に、この沈み込み帯では、地下浅部で付加体が、地下深部では変成岩や深成岩が、さらに表層では浅海成層とマグマの噴出による火山岩が形成されます。

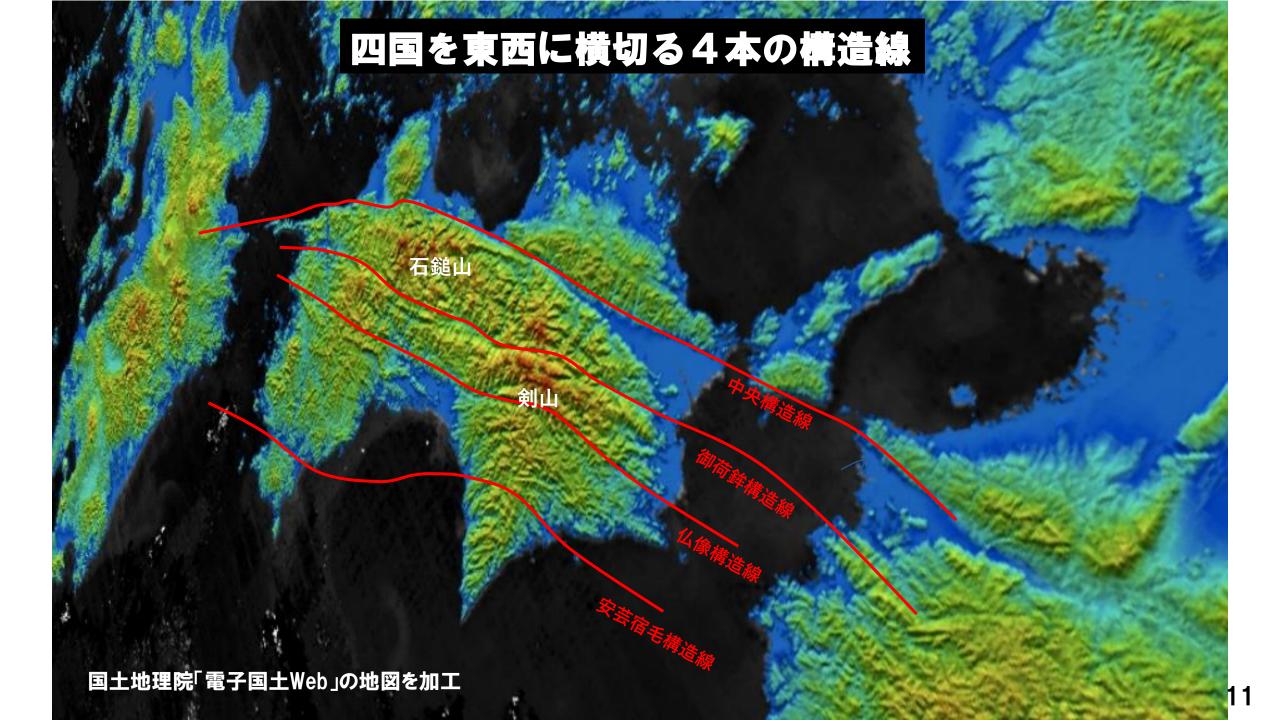
#### 四国の地形の特徴

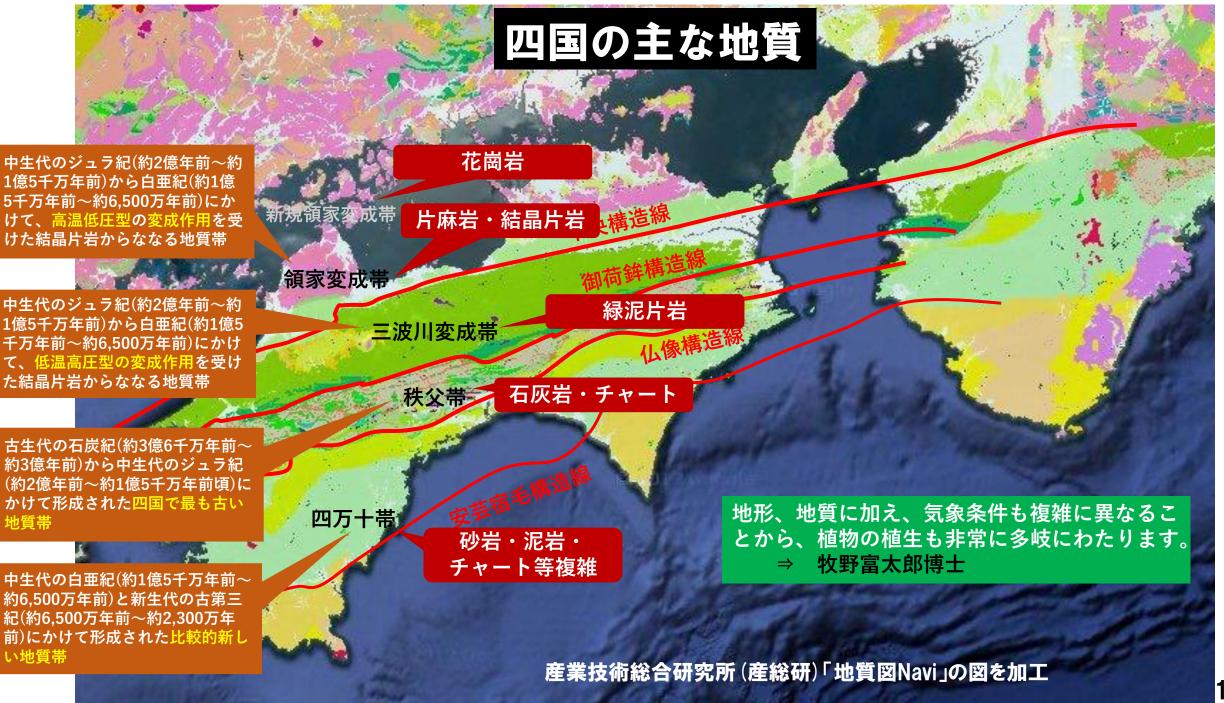


#### 褶曲山脈(しゅうきょくさんみゃく)

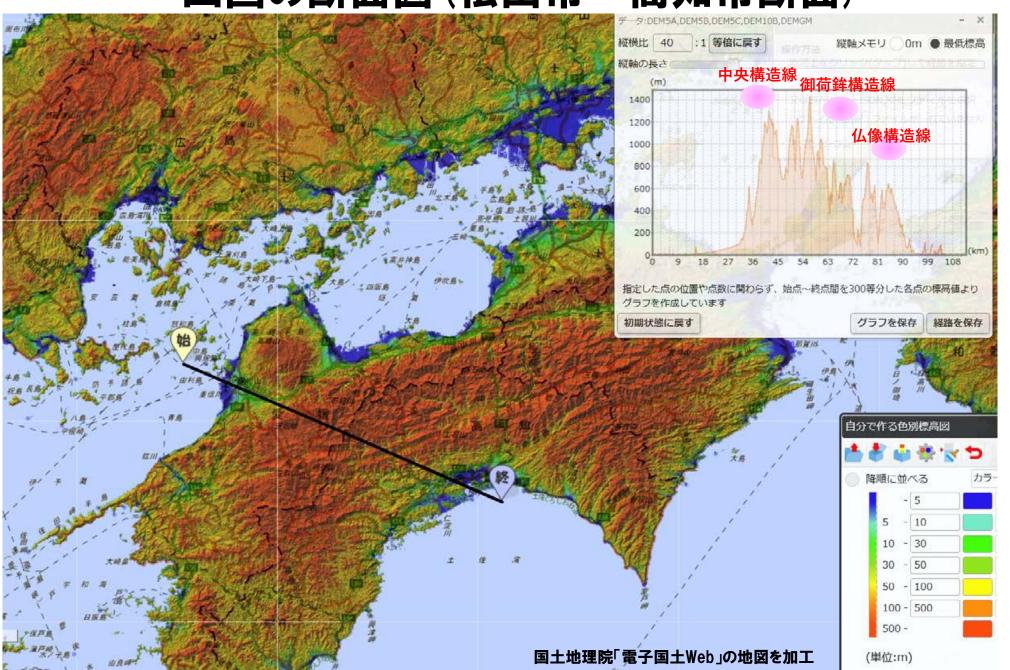
……褶曲山脈とは地殻変動によって地層が曲がりくねるように変形(これが褶曲)して形成された山脈のこと。水平方向に堆積した地層が、主に地球表面を覆うプレートの運動などによる横からの猛烈に強い力を長時間受け続けることで形成される。2方向からの圧縮の力と、隆起と沈降の力などがかかって形成される。比較的固い岩盤の場合は、褶曲が形成される途中で破断して断層となることが多い。山脈は1列だけでなく、何列も並行して生じる場合がある。

四国の古代史に関する私の解析は、この景色を松山空港発の飛行機の窓から見たことで始まりました





# 四国の断面図(松山市~高知市断面)





# 断層帯(構造線上)にある札所



第12番札所・焼山寺 (徳島県神山町)

御荷鉾構造線



第45番札所・岩屋寺 (愛媛県久万高原町)

御荷鉾構造線



第41番札所・龍光寺 (愛媛県宇和島市)

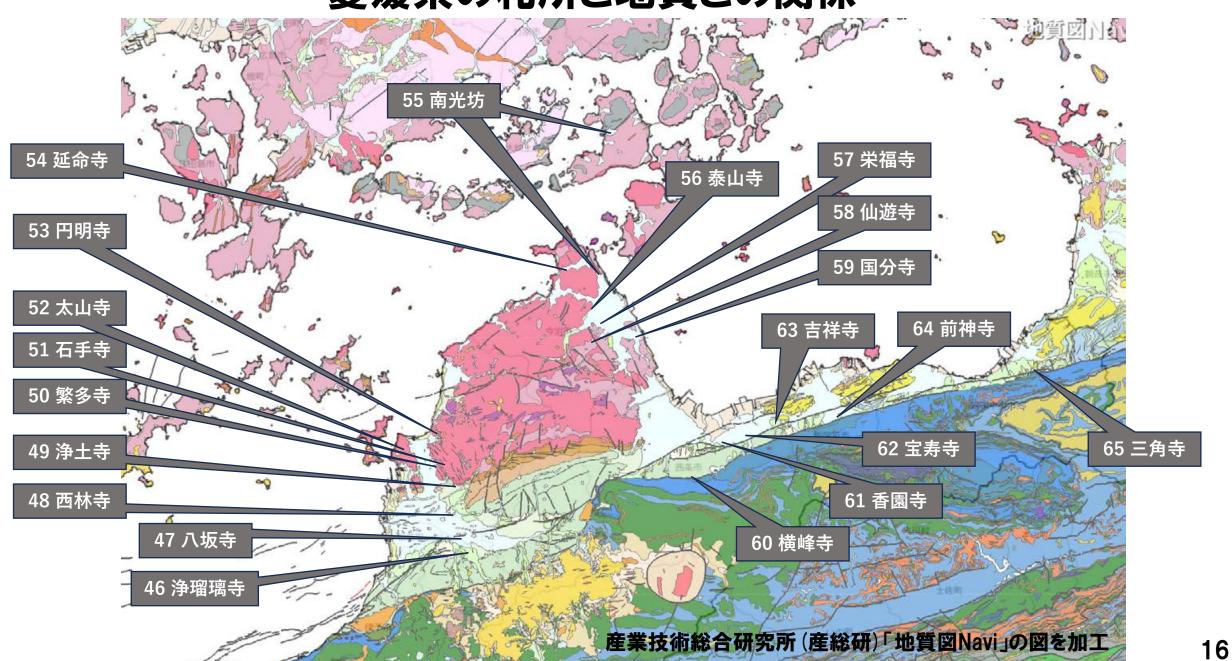
仏像構造線



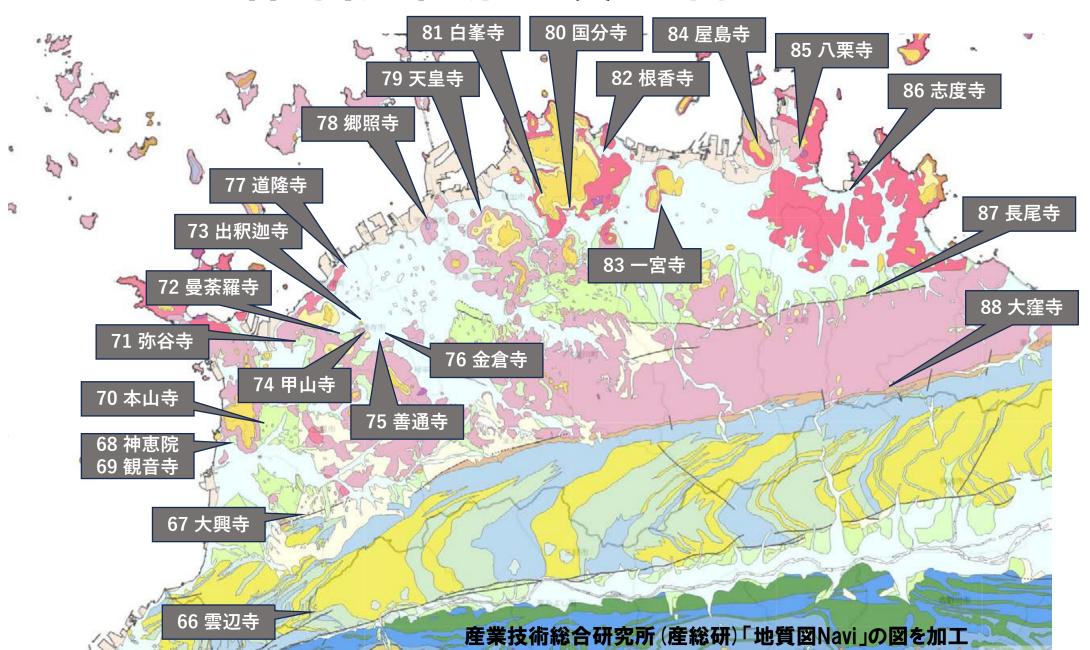
第60番札所・横峰寺 (愛媛県西条市)

中央構造線

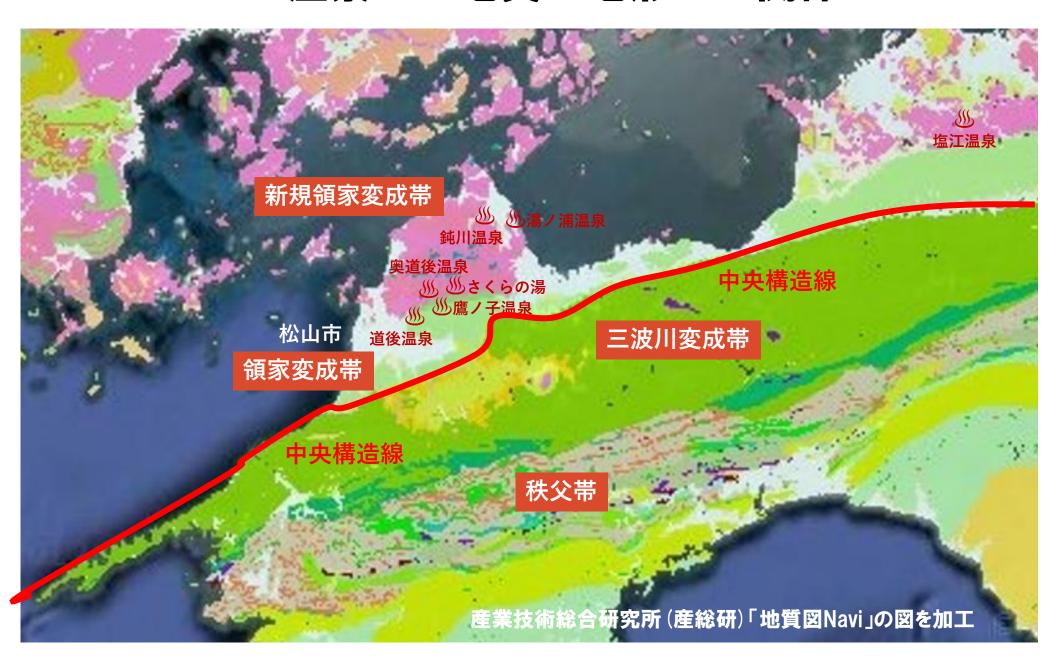
# 愛媛県の札所と地質との関係



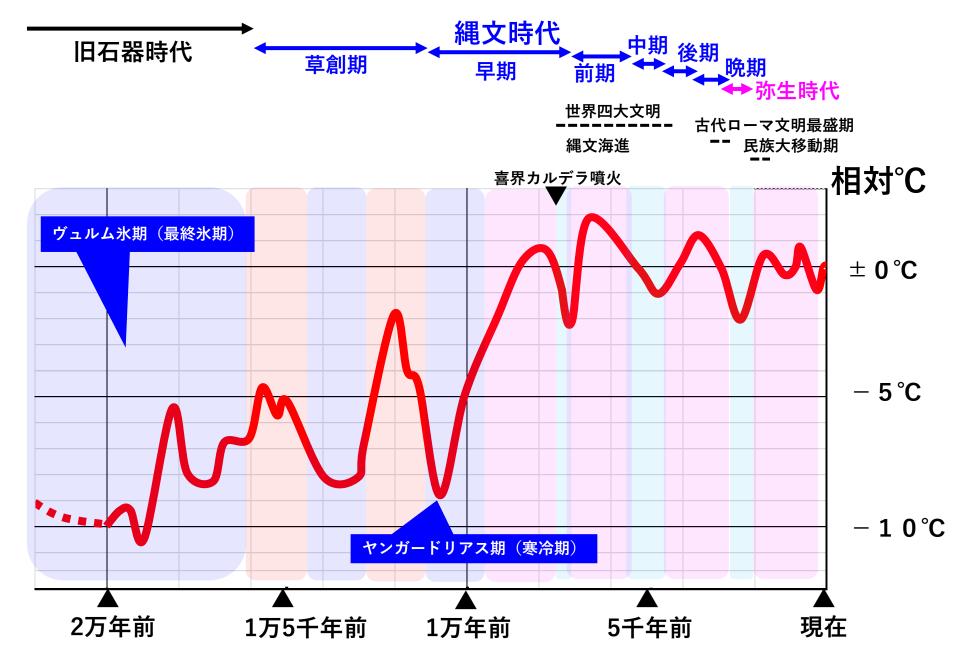
# 香川県の札所と地質との関係



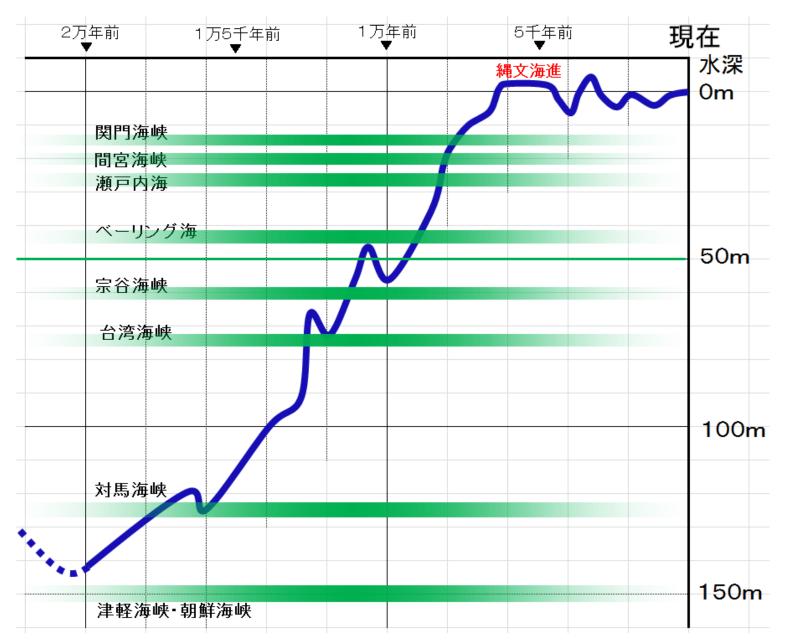
# 温泉巡と地質・地形との関係



### 約2万年前からの気候変動

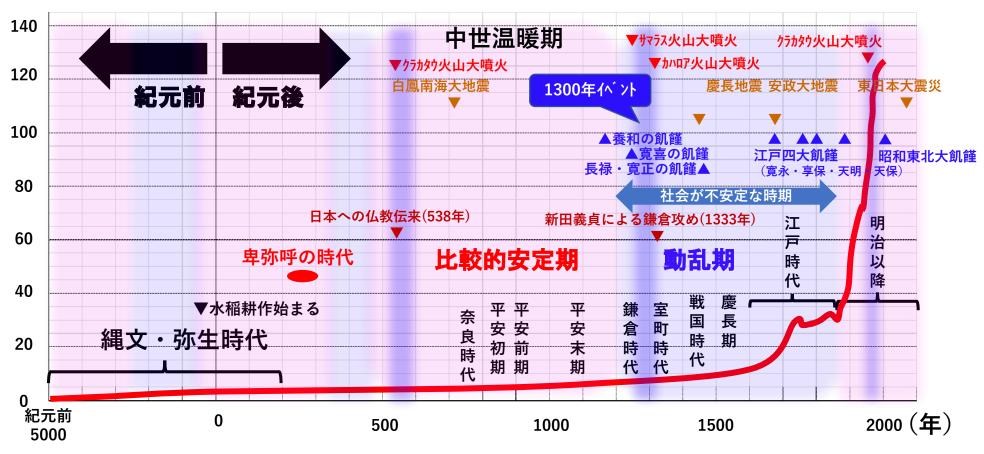


# 約2万年前からの海面の高さの変化



### 気候変動と日本列島の人口の推移

#### 人口(百万人)



人口統計に関しては、総合開発研究機構「人口減少と総合国力に関する研究」、国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集2004」、1846年までは鬼頭宏「人口から読む日本の歴史」(講談社)、1847年から1870年までは森田優三「人口増加の分析」(日本評論社)、1872年から2003年までは内閣統計局「明治五年以降我国の人口」などをもとに作成

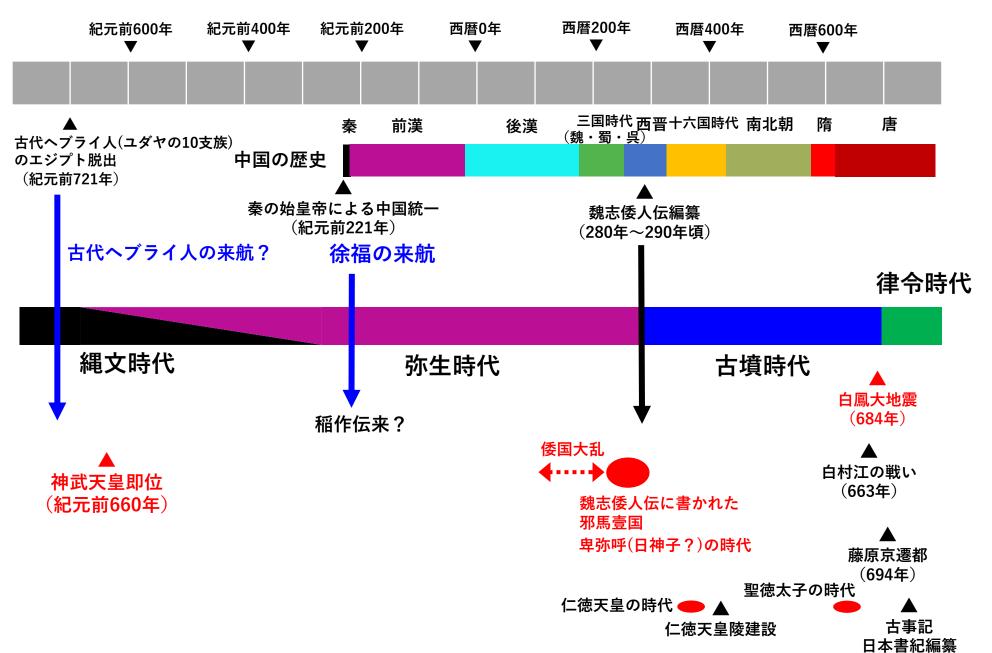
:温暖気候期

:寒冷気候期

:極端な寒冷期

- 1.四国誕生の謎 理系の歴史学から見た四国の古代史
- 2.魏志倭人伝とは
- 3.地形と気象から読み解く邪馬壹国までの経路
- 4.倭国の風俗から読み解く邪馬壹国
- 5.倭国滅亡の謎 南海トラフを震源とした超巨大地震『白鳳大地震』の記憶
- 6. 三世紀当時の丸亀周辺
- 7.さいごに:渡来人の謎/戦艦扶桑の謎

# 日本と中国の古代史



### 魏志倭人伝とは



三国志は司馬炎(武帝)によって建てられた西晋が、魏(初代皇帝:曹操)・蜀(初代皇帝:劉備)・呉(初代皇帝:孫権)の中で最後まで残った呉を滅ぼして、後漢末期以降分裂していた中国を100年振りに統一した後の西暦280年~290年にかけて、西晋の「正史」として編纂された歴史書

編纂責任者:西晋の陳寿という官僚

#### 重要なのは「史料(資料)を作成した目的|

……西晋の基礎を築いた魏の司馬懿(しばい)の功績を持ち上げること

魏志倭人伝≒出張報告書 倭国への忖度はほとんどない

#### 魏志の巻30『烏丸鮮卑東夷伝』

烏丸(うがん)、鮮卑(せんぴ)、夫餘(ふよ)、高句麗 (こうくり)、東沃沮(とうよくそ)、挹婁(ゆうろう)、 濊(わい)、韓(かん)、倭(わ)の順番に登場

「倭人の条」= 『魏志倭人伝』約2千字

三国志1巻平均約5,700字 約2千字は相当の分量

#### 魏志倭人伝が書かれた三国時代の頃の東アジアの概略図 (西暦220年~280年)



当時の世界はまだ国境の概念が希薄だったので、あくまでも勢力圏のイメージで描いてみました。

### 魏志倭人伝の構成

第1章 倭国までの行程と倭国を形成する国々

第2章 倭国の風俗

第3章 倭国の政治と外交

邪馬壹国の文字が出てくるのはこの1箇所のみ 他は「女王國」という表現

#### 魏志倭人伝「第1章 倭国までの行程と倭国を形成する国々」

松前町

人口約3万人 世帯数約1万2千戸 松山市

人口約40万人 世帯数約24万5千戸 今治市

人口約15万人 世帯数約6万8千戸

邪馬壹国

『三国志』魏志倭人伝 のすべての写本・版本



邪馬壱国

邪馬臺国

『後漢書』東夷伝 (西暦432年編纂)

邪馬台国

#### 魏志倭人伝「第2章 倭国の風俗」

其死有棺無槨。 

# 邪馬壹国の場所の比定に結び付きそうな 重要なキーワードが幾つも散見される

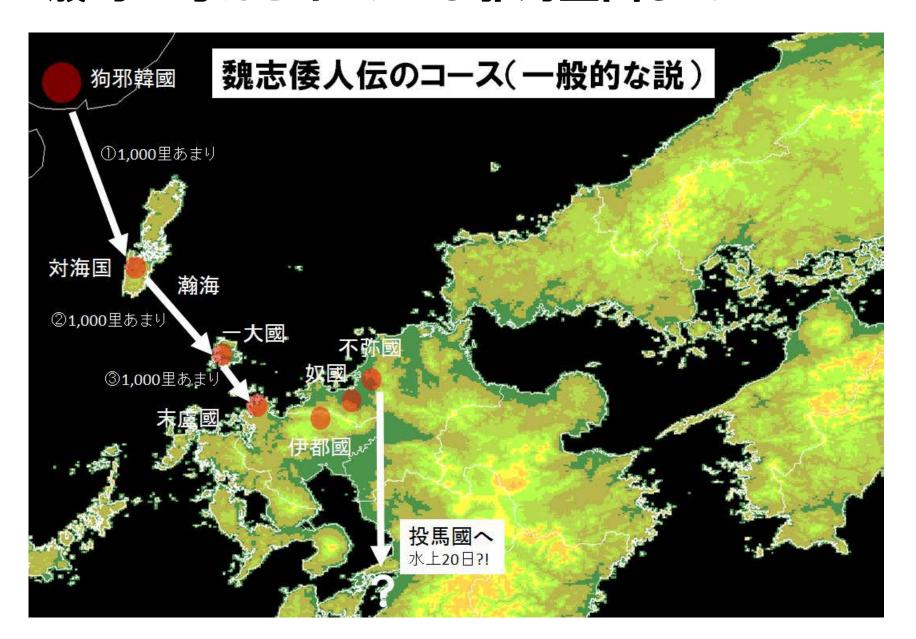
#### 魏志倭人伝「第3章 倭国の政治と外交」

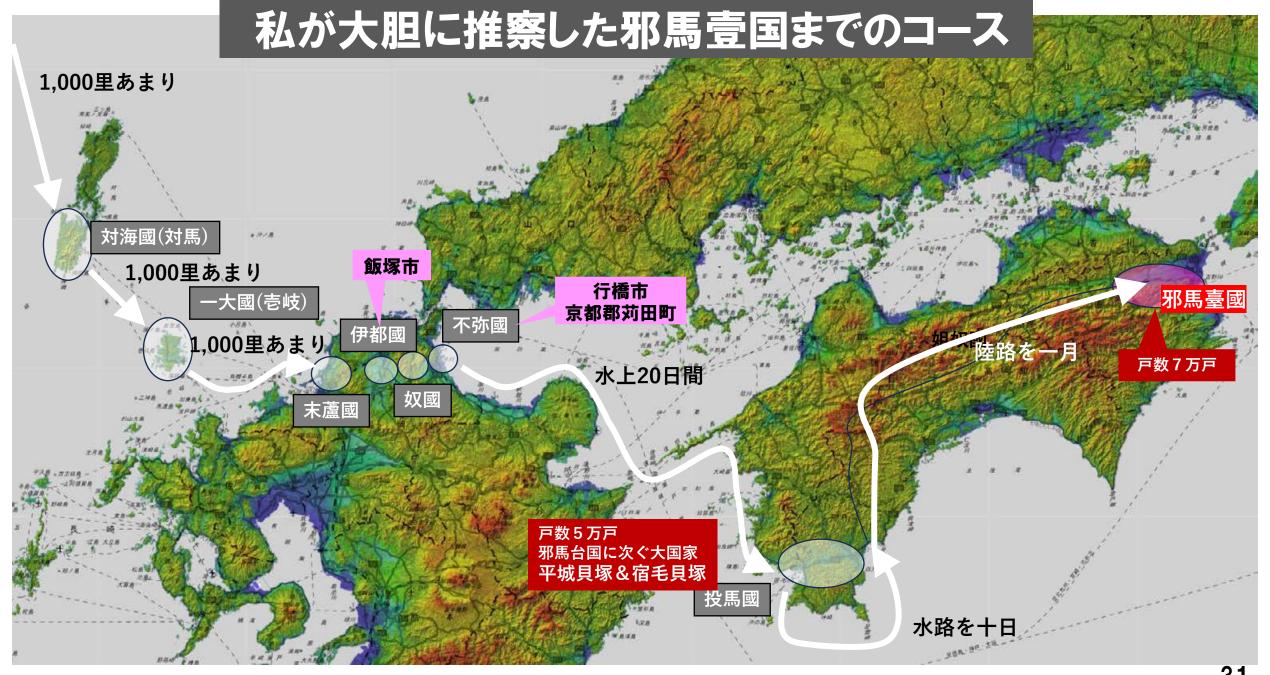
卑弥呼の後継者である「壹與」の名前も登場

「卑弥呼」という倭国の女王の名前が登場するのは、この最後の第3章

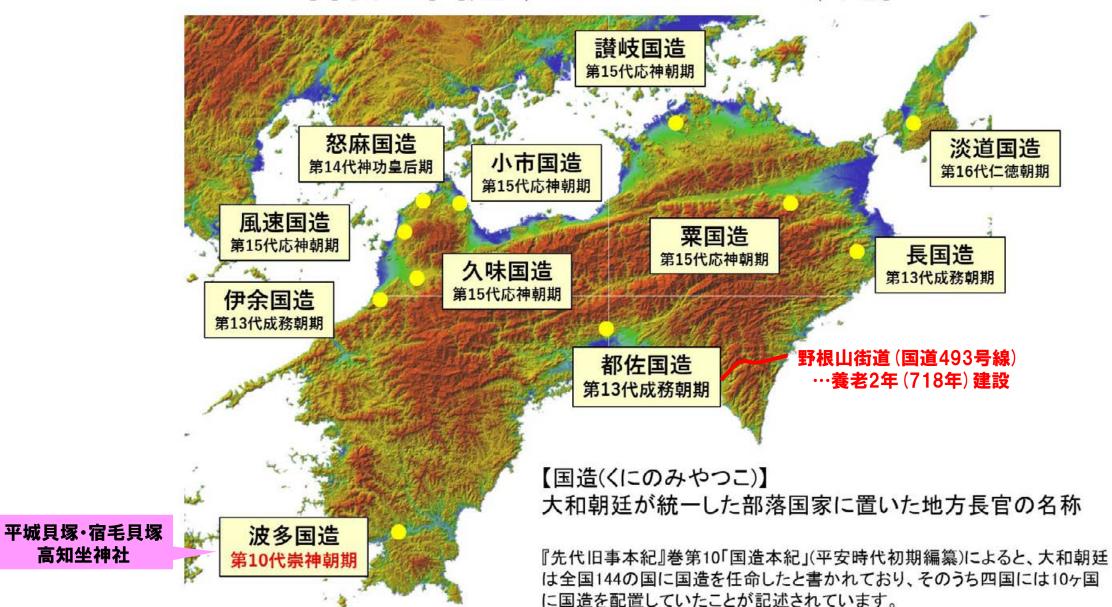
- 1.四国誕生の謎 理系の歴史学から見た四国の古代史
- 2.魏志倭人伝とは
- 3.地形と気象から読み解く邪馬壹国までの経路
- 4.倭国の風俗から読み解く邪馬壹国
- 5.倭国滅亡の謎 南海トラフを震源とした超巨大地震『白鳳大地震』の記憶
- 6. 三世紀当時の丸亀周辺
- 7.さいごに:渡来人の謎/戦艦扶桑の謎

# 一般的に考えられている邪馬壹国までのコース





### 古代の国造(くにのみやつこ)配置



高知坐神社

32

### 古代四国の主要幹線道路:国道439号線ルート



国道439号線は四国山地の山深いところを通って、四国を東西に横断する国道で、 "酷道ヨサク"と呼ばれています。

# 古代四国の主要幹線道路:国道439号線ルート

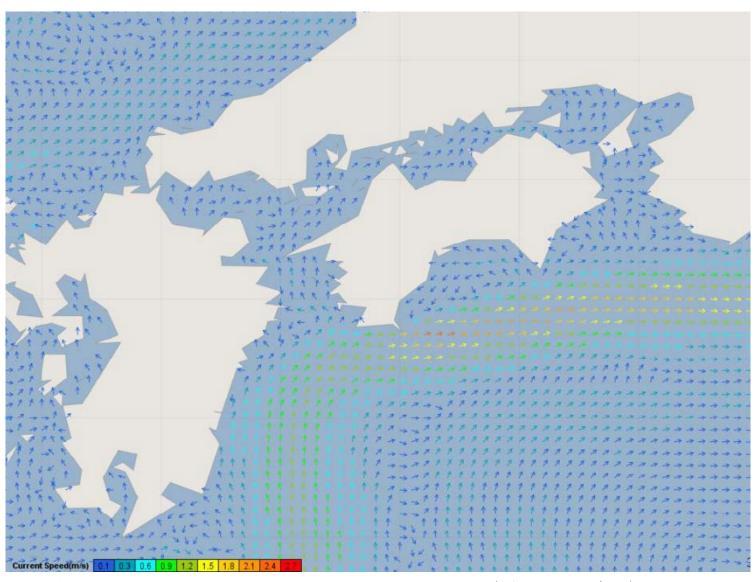




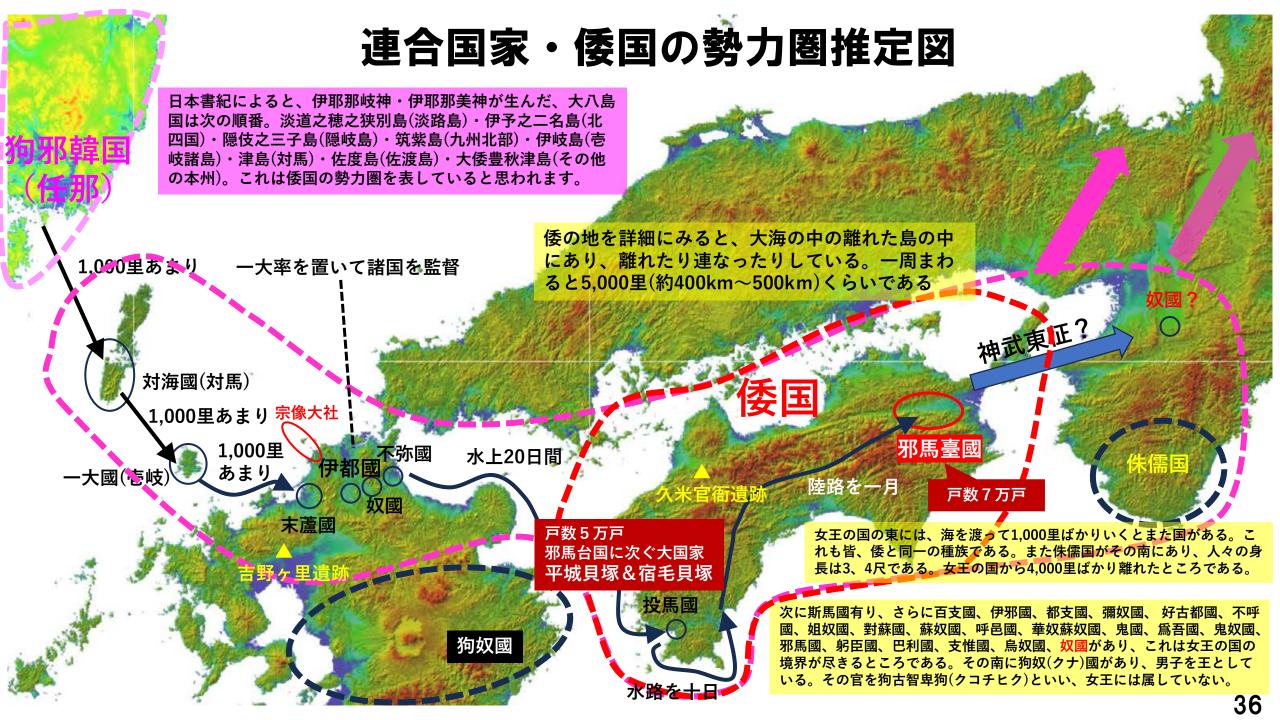




### 四国南岸の黒潮の流れ(2016.08.15年前9時)



足摺岬近辺では秒速2メートルを超え、最大で4ノット(約7.4km/時)にもなる速い潮流が100km近い幅の帯状になって西から東に流れています。



- 1.四国誕生の謎 理系の歴史学から見た四国の古代史
- 2.魏志倭人伝とは
- 3.地形と気象から読み解く邪馬壹国までの経路
- 4.倭国の風俗から読み解く邪馬壹国
- 5.倭国滅亡の謎南海トラフを震源とした超巨大地震『白鳳大地震』の記憶
- 6. 三世紀当時の丸亀周辺
- 7.さいごに:渡来人の謎/戦艦扶桑の謎

## 魏国がどうして倭国を重要視する必要があったのか?

### 【原文】

倭人在帶方東南大海之中、依山島為國邑。舊百餘國。漢時有朝見者。今使譯所通三十國。—— 從郡至倭、循海岸水行歷韓國、乍南乍東到 其北岸狗邪韓國。七千餘里。

始度一海、千餘里至對海國。其大官曰卑狗、副曰卑奴毋離。所居絕島。方可四百餘里。土地山險多深林、道路如禽鹿徑。有千餘戸、無良田食海物自活、乗船南北市糴。

又南渡一海千餘里、名曰瀚海。至一大國。官亦曰卑狗、副曰卑奴母離。方可三百里。多竹木 叢林、有三千許家。差有田地、耕田猶不足食、亦南北市糴。

又渡一海千餘里、至末盧國。有四千餘戶。濱山海居、草木茂盛行不見前。人好捕魚鰒、水無深淺皆沈没取之。

東南陸行五百里、到伊都國。官曰爾支、副曰泄謨觚、柄渠觚。有千餘戸。世有王、皆統屬女王國。郡使往來常所駐。

東南至奴國、百里。官曰兕馬觚、副曰卑奴毋離。有二萬餘戸。

東行至不彌國、百里。官曰多模、副曰卑奴毋離。有千餘家。

南至投馬國、水行二十日。官曰彌彌、副曰彌彌那利。可五萬餘戸。

南至邪馬壹國、女王之所都。水行十日、陸行一月。官有伊支馬、次曰彌馬升、次曰彌馬獲支、次曰奴佳鞮、可七萬餘戸。

自女王國以北、其戸數道里可得略載、其餘旁國遠絶、不可得詳。

次有斯馬國、次有巴百支國、次有伊邪國、次有都支國、次有彌奴國、次有好古都國、次有不呼國、次有姐奴國、次有對蘇國、次有蘇奴國、次有呼邑國、次有華奴蘇奴國、次有鬼國、次有為國、次有鬼國、次有鬼奴國、次有鬼奴國、次有見國、次有巴利國、次有支惟國、次有烏奴國、次有奴國、此女王境界所盡。

其南有狗奴國、男子為王。其官有狗古智卑狗、不屬女王。

自郡至女王國 萬二千餘里。

倭人は、帯方の東南の大海のなかにある。山の多い島で、 国や村をなしている。もとは100余国であった。漢のとき 中国に朝見するものがあった。いま、使者と通訳の通交す る(魏と国交がある)のは、30か国である。



この30か国の中で、なぜ倭国だけが取り上げられたのか?

## 地政学的視点

<u>同盟関係</u>を結ぶに値する武力(海軍力) を有する相手

⇒ 呉国への牽制 実戦経験(倭国大乱)

### 魅力的な交易相手

⇒ 倭国の輸出品目は何だったのか? 豊富な資源

## 倭国(邪馬台国)の植生等

<u>禾や稲、苧麻の種子を植え、桑で蚕を飼い、紡いで細い麻糸、</u> 木綿、絹織物を作っている。

禾(ノギ)とはムギ、アワ、ヒエ、キビ、豆といった五穀のこと。 すなわち、倭国ではムギ、アワ、ヒエ、キビを既に生産していた。

### 【原文】

計其道里當、在會稽東冶之東。

其風俗不淫、男子皆露紒、以木棉招頭。其衣横幅、但結束相連、略無縫。婦人被髮屈紒、作衣如単被、穿其中央貫頭衣之。

種禾稲、紵麻、蚕桑緝績。出細紵、縑縣。其地無牛馬虎豹羊鵲。兵用矛、楯、木弓。木弓 短下長上、竹箭或鉄鏃或骨鏃。所有無與儋耳·朱崖同。

倭地温暖、冬夏食生菜。皆徒跣。有屋室、父母兄弟臥息異処。以朱丹塗其身体、如中国用粉也。食飲用甕豆、手食。

(中略)

出真珠青玉。其山有丹。其木有杼豫樟樑櫪投橿烏號楓香。其竹篠幹桃支。有薑橘椒裹荷不知以爲滋味。有爾猴黑雉。

生姜、<mark>橘</mark>、山椒、茗荷もあるが、滋味ある食物として 利用することを知らない。

橘:古事記、日本書紀には、垂仁天皇が田道間守を常世の国に遣わして「非時香菓(ときじくのかぐのこのみ)」と呼ばれる不老不死の力を持った(永遠の命をもたらす)霊薬を持ち帰らせたという話が記されている。



邪馬台国は会稽東冶の東にある

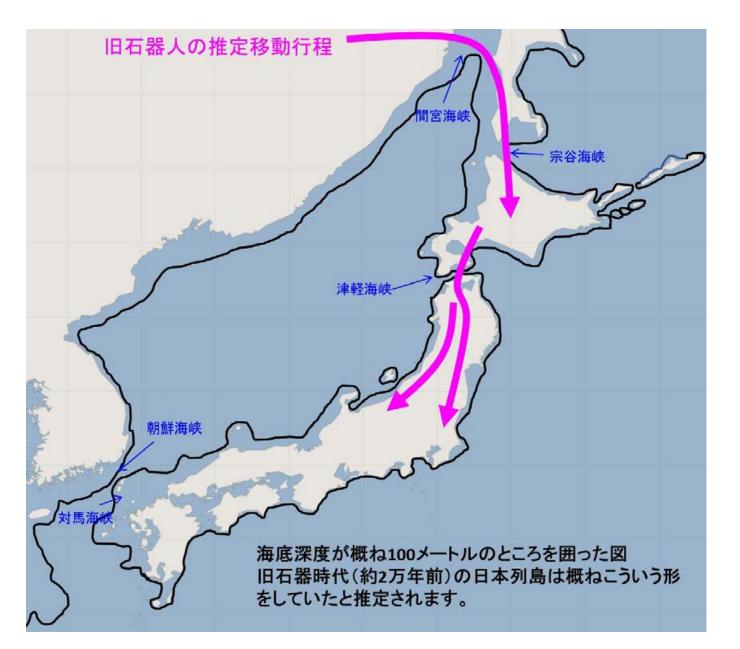


<u>女性の髪形</u> 徳島県立埋蔵文化財総合センターに 所蔵されている「襷がけ人物埴輪」 (徳島県板野郡 菖蒲谷西山A遺跡)

その土地には、牛、馬、虎、豹、羊、鵲(セキ)はいない

鵲(セキ)とは"カササギ"のこと。カササギは、スズメ目カラス科に属する翼を広げると幅が60cmほどになる比較的大型の留鳥で、別名をカチガラス、もしくはコウライガラス(高麗鳥)と言います。

# 約2万年前の日本列島の海岸線の想像図



## 旧石器時代~縄文時代にかけての主な遺跡の分布



約8千年前の女性の人骨

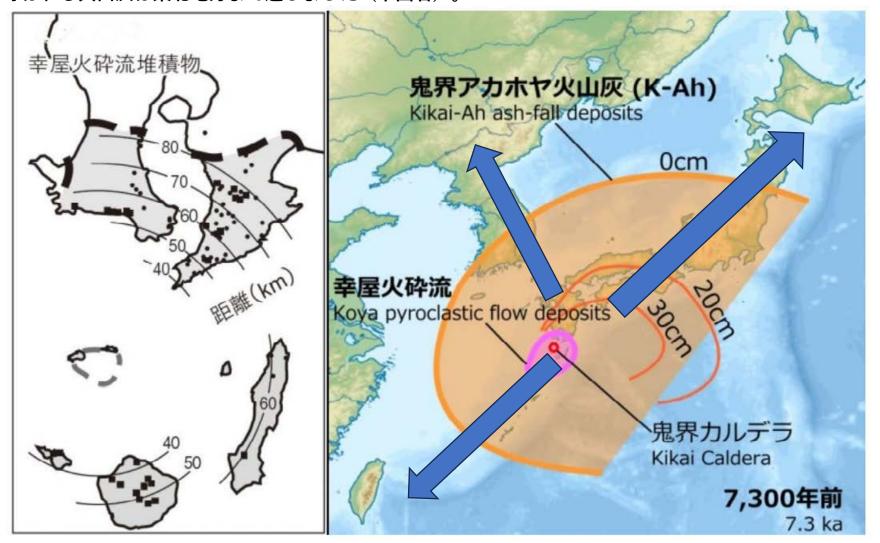


女神像線刻礫、いわゆる 「縄文のヴィーナス」

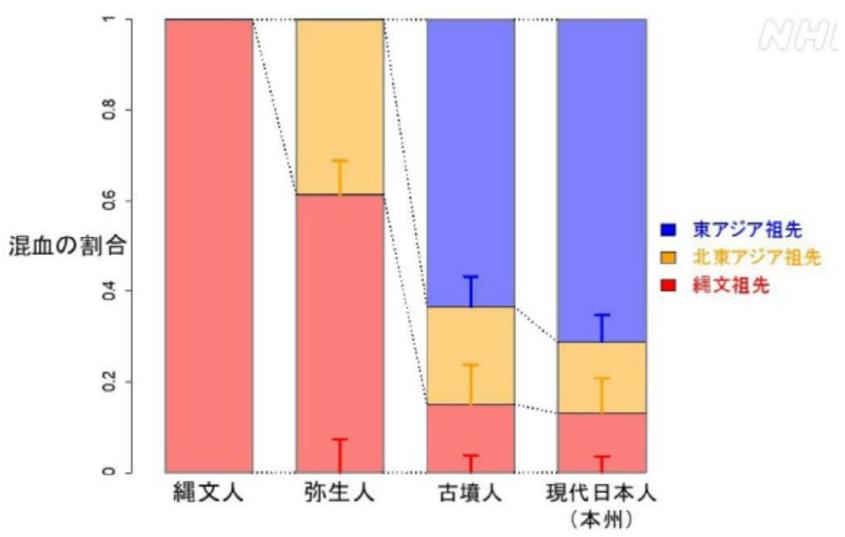


## 西日本の縄文文化を壊滅させた「鬼界カルデラ」の大噴火

鬼界カルデラは鹿児島県南方およそ50kmの硫黄島と竹島を含むカルデラで、大半が海底にあります。約7,300年前(約6,300年前とする説もある)に生じた鬼界カルデラの一連の大噴火の際に、最後の大規模火砕流(幸屋火砕流)が推定時速300km位の高速で海上を走り、大隅半島や薩摩半島にまで上陸しました(下図左)。その時のアカホヤと呼ばれる火山灰は東北地方まで達しました(下図右)。

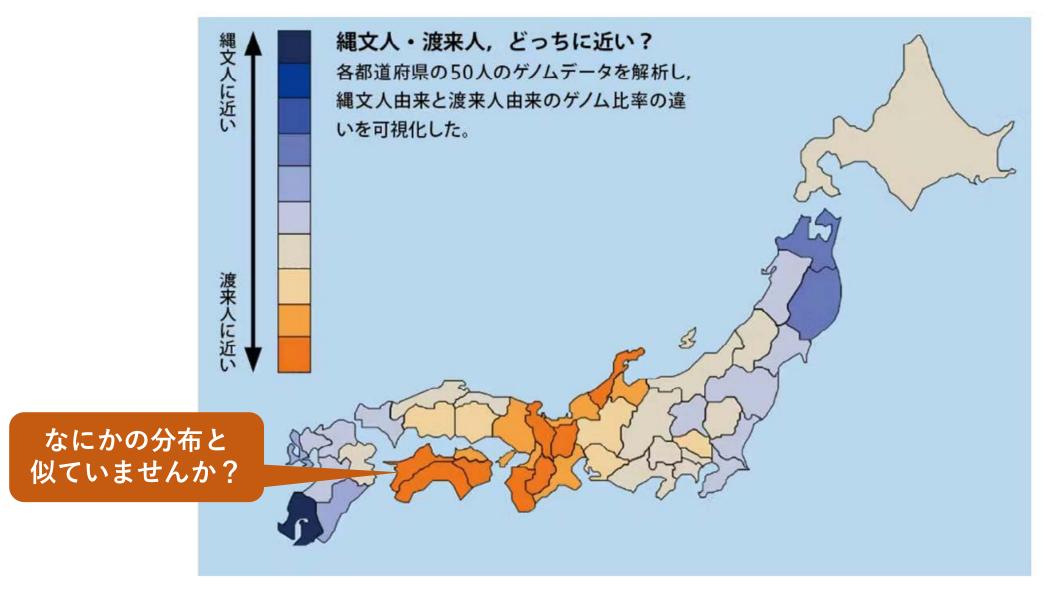


## 私たちは何者か~DNAで迫る現代日本人への道



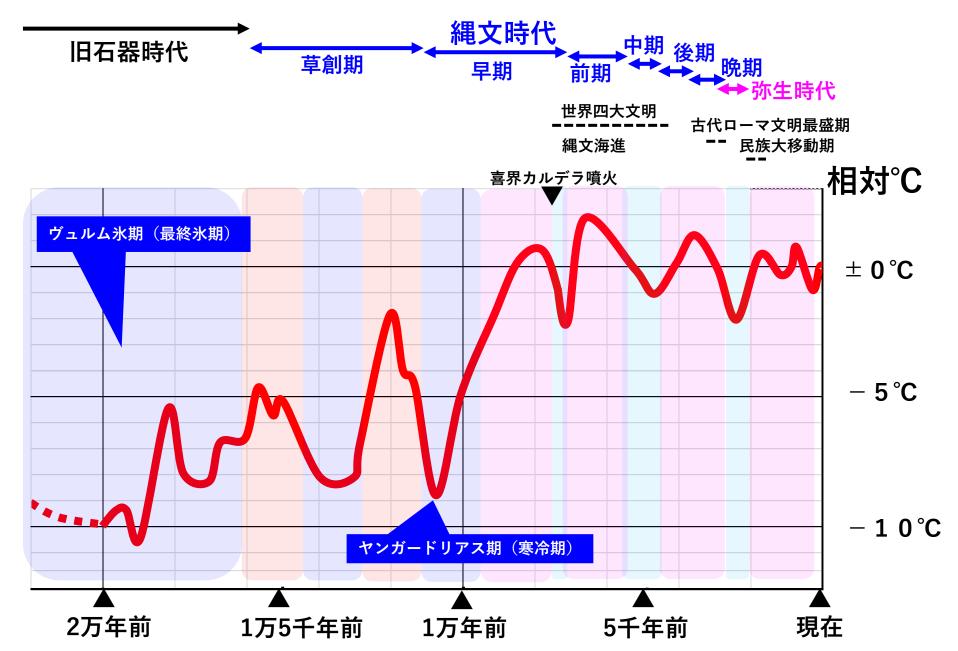
金沢大学を中心とした研究チームの解析結果より

## 都道府県レベルでみた日本人の遺伝的集団構造



東京大学の大橋順教授らの調査結果(日経サイエンスより)

## 約2万年前からの気候変動



## 主な野菜の原産地

### 【ヨーロッパ】

#### [果菜類]

コリアンダー、ネットメロン、ワイルドストロベリー

アスパラガス、イタリアンパセリ、ウインターサボリー、オレガノ、カモミール、カリフラワー、キャベツ、クレソン、ケール、サンチュ、シャロット、シュンギク、スペアミント、セージ、セロリ、タイム、チコリ、チシャ、パセリ、ブロッコリー、ペパーミント、マッシュルーム、ラベンダー、レタス、レモンタイム、ローズマリー

〔根菜類〕

カブ、ゴボウ、ハツカダイコン

### 【中国&東アジア】

#### [果菜類]

アズキ、アブラナ、シロナス、ダイズ 「 葉菜類 〕

- カラシナ、キク、シソ、タカナ、チンゲン サイ、ネギ、ハクサイ
- へ 〔根菜類〕 クワイ、ナガイモ

### 【日本原産】

#### [果菜類]

ヒシ

〔葉菜類&キノコ類〕

アサツキ、アシタバ、ウド、エノキタケ、カンゾウ、キクラゲ、ギ ボウシ、ギョウジャニンニク、サンショウ、シイタケ、シュンサイ、

オ セリ、ゼンマイ、タラノキ、ツクシ、ツワブキ、ナメコ、ニラ、 ハッカ ハツタケ ヒラタケ フキ ホンシメジ ミズナ ミッ

ハッカ、ハツタケ、ヒラタケ、フキ、ホンシメジ、ミズナ、ミツバ、 ミブナ、マツタケ、ミョウガ

〔根菜類〕

カタクリ、ハス、ヤマゴボウ、ワサビ

### 【北アメリカ】

#### [果菜類]

インゲン豆、ズッキーニ

### 【熱帯アメリカ】

#### [果菜類]

シシトウガラシ、セイヨウカボチャ、トウガラシ、ニホンカボチャ、ハヤトウリ、ピーマン

〔根菜類〕

サツマイモ

### 【インド&熱帯アジア】

### [果菜類]

キュウリ、シロウリ、トウガン、ナス、ナタマメ、 ニガウリ、ヘチマ、マクワウリ

〔葉菜類〕

ツルムラサキ、バジル

〔根菜類〕

コンニャク、サトイモ、ハスイモ

### 【南アメリカ】

### [果菜類]

イチゴ、トウモロコシ、トマト、 ラッカセイ 〔根菜類〕

ジャガイモ

### 【アフリカ】

#### [果菜類]

オクラ、ゴマ、スイカ、ヒョウタン、

ユウガオ 〔葉菜類〕

モロヘイヤ

### 【中央アジア&西アジア】

### [果菜類]

エンドウ、ソラマメ、メロン

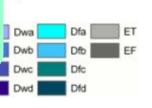
#### 〔葉菜類〕

コショウ草、サフラン、ゼニアオイ、ホウレン草

〔根菜類〕

BSk

ショウガ、ダイコン、タマネギ、ニンジン、ニンニク

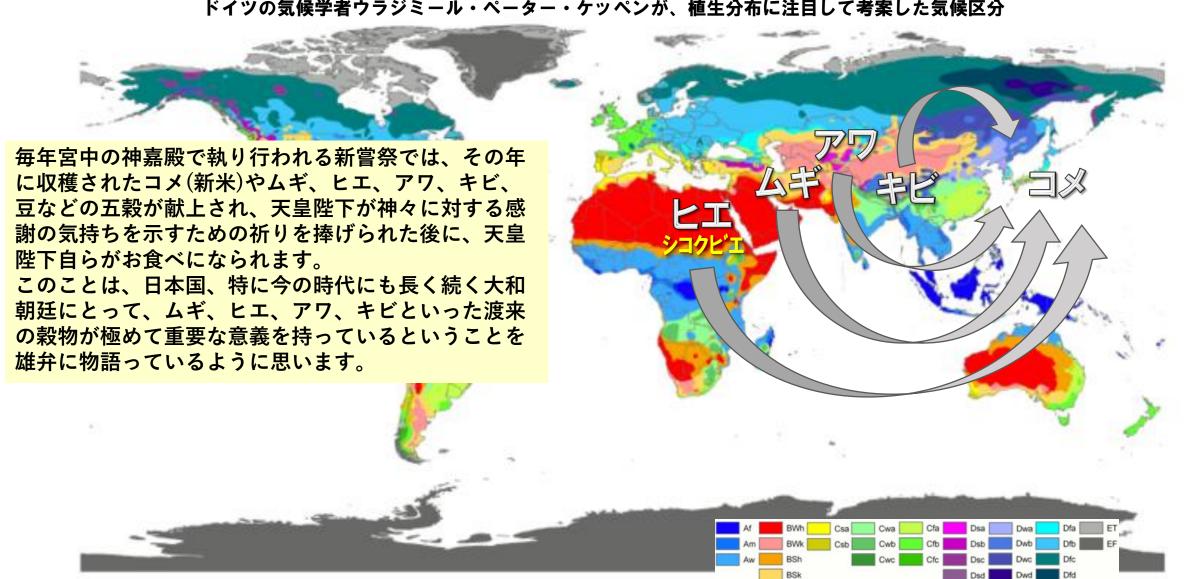


### 46

### 五穀の原産地

### ケッペンの気候区分

ドイツの気候学者ウラジミール・ペーター・ケッペンが、植生分布に注目して考案した気候区分



## 倭国は魅力的な資源と優れた技術の宝庫だった?

### 【原文】

計其道里當、在會稽東冶之東。

其風俗不淫、男子皆露紒、以木棉招頭。其衣横幅、但結束相連、略無縫。婦人被髮屈紒、作衣如単被、穿其中央貫頭衣之。

種禾稲、紵麻、蚕桑緝績。出細紵、縑縣。其地無牛馬虎豹羊鵲。<u>兵用矛、楯、木弓。木弓</u> 短下長上、竹箭或鉄鏃或骨鏃。所有無與儋耳·朱崖同。

倭地温暖、冬夏食生菜。皆徒跣。有屋室、父母兄弟臥息異処。以朱丹塗其身体、如中国用粉也。食飲用籩豆、手食。

(中略)

出真珠青玉。其山有丹。其木有杼豫樟樑櫪投橿烏號楓香。其竹篠幹桃支。有薑橘椒裹荷、不知以爲滋味。有爾猴黑雉。

### 真珠、青玉を産出する。山には丹を産出する

丹は水銀(硫化水銀: 辰砂)

青玉はヒスイ(翡翠)

硬玉(ジェダイト:ヒスイ輝石)…宝石としての翡翠

軟玉(ネフライト、スメクタイト:ニッケル珪質岩)…緑泥片岩

伊予の青石

…翡翠に比べて硬度が低く(柔らかく)、勾玉(まがたま)等への加工が容易なことから、古代には翡翠の代用品としてむしろ重宝がられた

### 竹の矢に鉄鏃(鉄製のヤジり)や骨の矢じりを用いる

### すでに鉄が使われていた!

一般的には鉄は5世紀に中国大陸から伝来されたと言われる。

五斗長垣内遺跡(ごっさかいといせき:兵庫県淡路市)

……弥生時代後期(1世紀~3世紀)における日本列島最大

規模の鉄器生産集落の跡

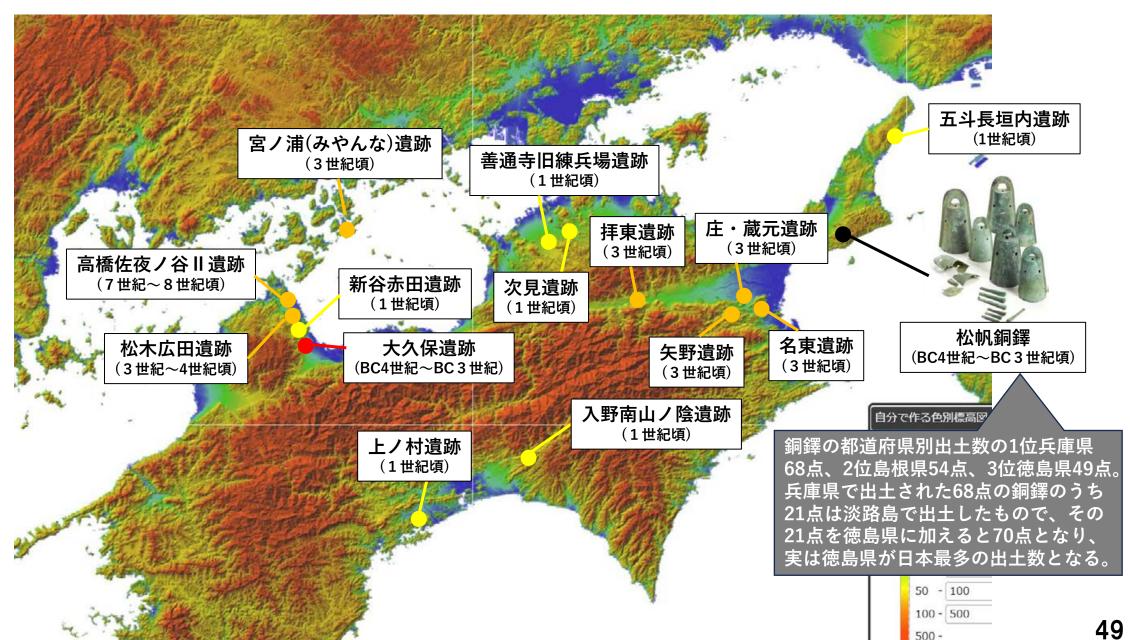


武器には矛、盾、木の弓を用い、弓の下部を 短くして上部を長めにしている



伊予の青石(緑泥片岩) 松山自動車道石鎚山サービスエリアにて

## 古代四国における鉄器生産遺跡等の分布





鉱山のキースラガー



別子鉱山の金鉱石

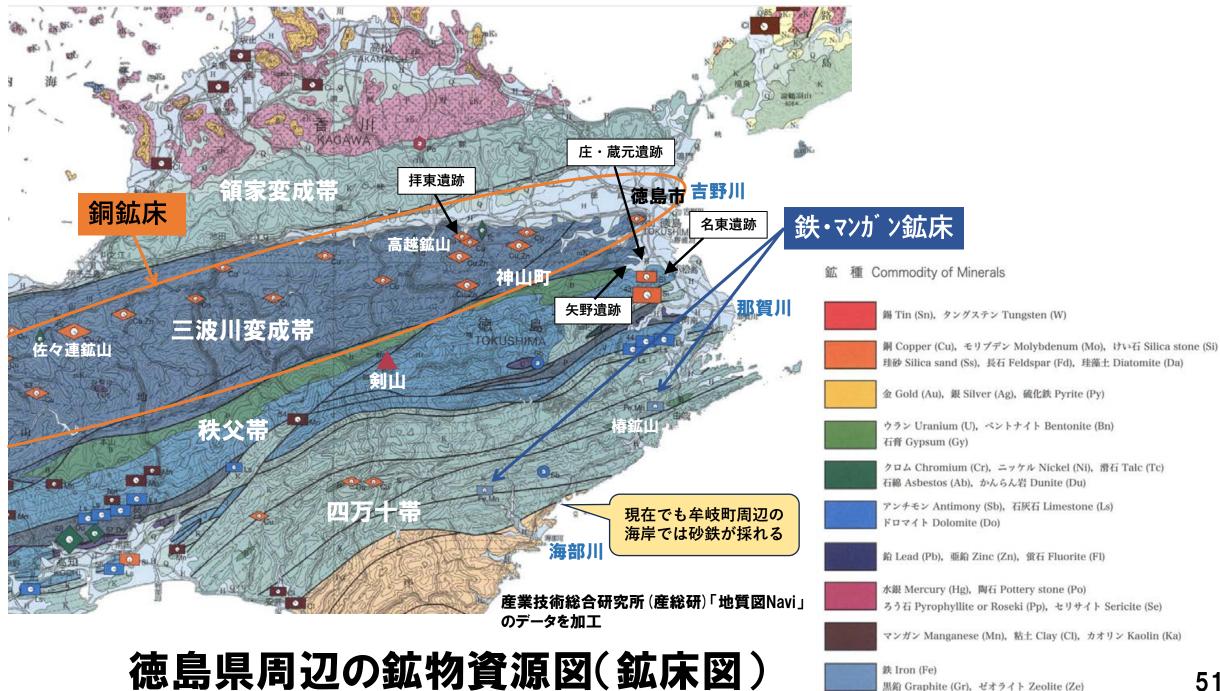


鍰(からみ)煉瓦 別子鉱山

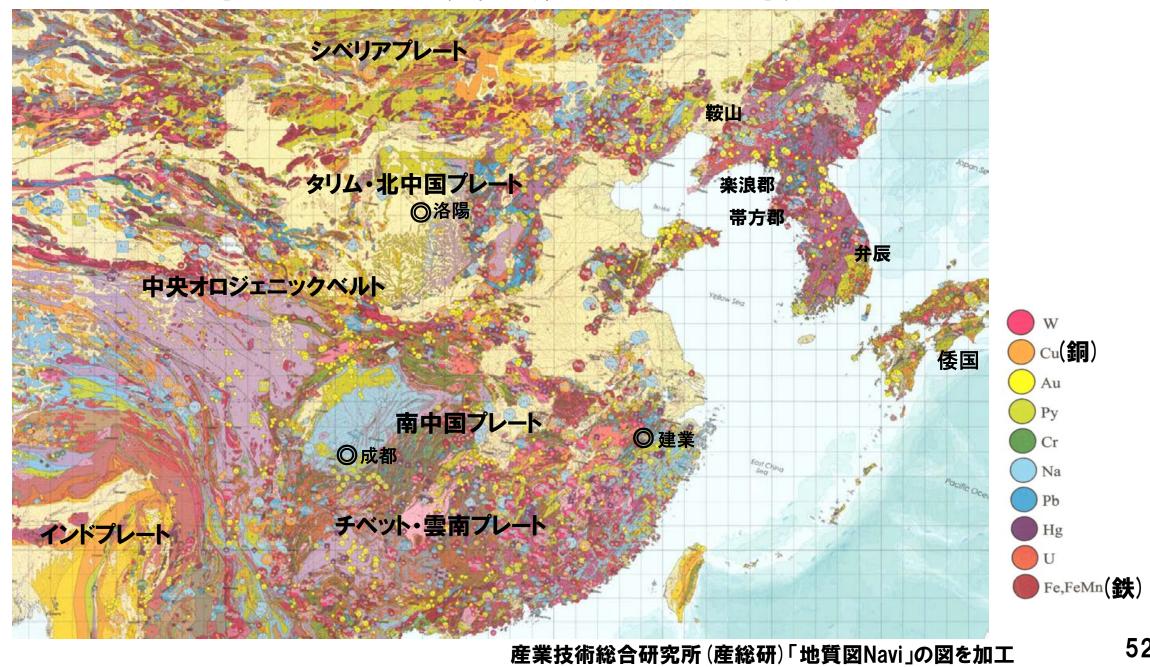


市之川鉱山の輝安鉱 大英自然史博物館所蔵

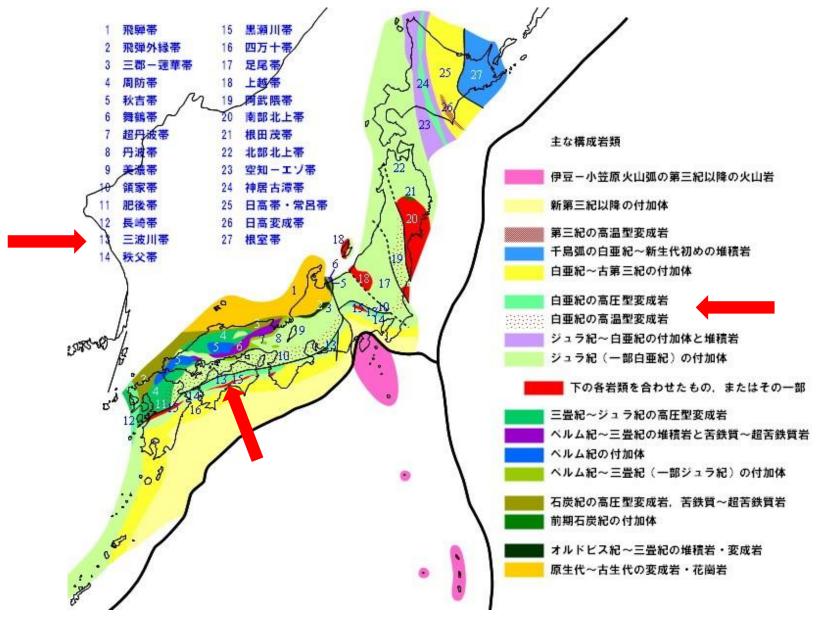


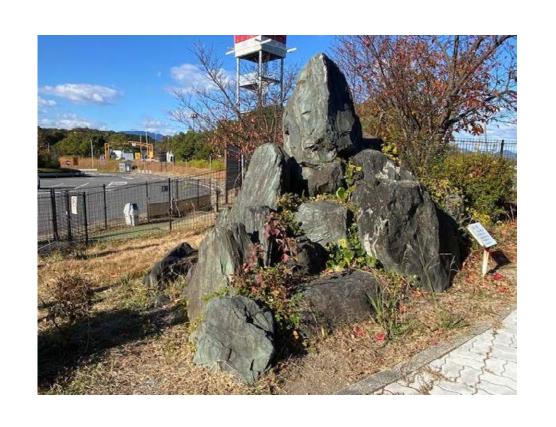


## 東アジアの地質図及び鉱床・鉱徴図



## 日本列島の地質帯構造区分





伊予の青石(緑泥片岩) 松山自動車道石鎚山サービスエリア



水井鉱山 (阿南市) の辰砂

## 倭国は優れた技術力を持つ国だった?

### 【原文】

倭女王卑弥呼與狗奴国男王卑弥弓呼素不和。遣倭載斯、烏越等詣郡説相攻擊状。遣塞曹掾史張政等、因齎詔書黃幢、拝假難升米為檄告諭之。

卑弥呼以死、大作冢系百余步。殉葬者奴婢百余人。

更立男王、国中不服、更相誅殺。当時殺千余人。復立卑弥呼宗女壹與年十三為王、国中遂定。

政等以檄告諭壹與。

壹與遺倭大夫率善中郎将掖邪狗等二十人送政等還。因詣臺、献上男女生口三十人、 貢白珠五千孔、青大句珠二枚、異文雜錦二十匹。

壹與は、倭の大夫率善中郎将掖邪狗ら二十人を派遣し、 張政等が帰国するのを送らせた。このおり掖邪狗らは洛 陽に行き、男女の生口(いくち)三十人を献上し、白珠 (真珠)を五千個、青く大きい勾玉(まがたま)二枚、異文 雜錦二十匹を献上した。

"生口"とは優れた技術を持った者のことでは ないのか?

### 【原文】

景初二年六月、倭女王遣大夫難升米等詣郡、求詣天子朝獻。太守劉夏、遣吏將送詣京都。

其年十二月、詔書報倭女王曰、制詔親魏倭王卑彌呼。帶方太守劉夏遣使送汝大夫 難升米、次使都市牛利奉汝所獻男生口四人、女生口六人、斑布二匹二丈、以到。汝 所在踰遠、乃遣使貢獻。是汝之忠孝、我甚哀汝。今以汝爲親魏倭王、假金印紫綬、 裝封付帶方太守假授。汝其綏撫種人、勉爲孝順。

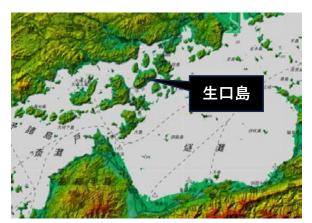
### 【原文】

正始元年、太守弓遵遺建中校尉梯儁等、奉詔書印綬詣倭國、拜假倭王、并齎詔賜、金帛、錦罽、刀、鏡、采物。倭王、因使上表答謝詔恩。

其四年、倭王復遺使大夫伊聲書、掖邪狗等八人、上獻生口、倭錦、絳青縑、縣衣、帛布、丹、木刀、短弓、矢。掖邪狗等、壹拜率善中郎將印綬。

其六年、詔賜倭難升米黃幢、付郡假授。

其八年、太守王頎到官。倭女王卑彌呼與狗奴國男王卑彌弓呼素不和。遺倭載斯、烏越等詣郡相攻擊狀。遺塞曹掾史張政等、因齎詔書黃幢、拜假難升米為檄告之。

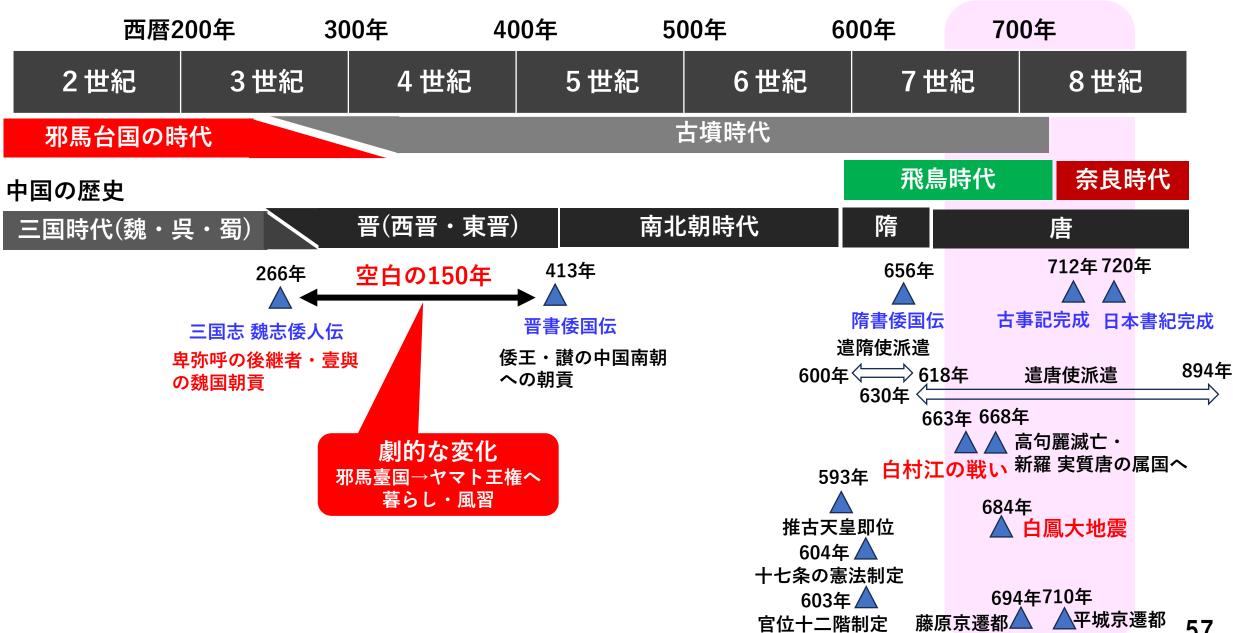


生口島の名前の由来には、邪馬台国が魏への朝貢に連れて行く生口をこの地に留めていたとされる説がある。

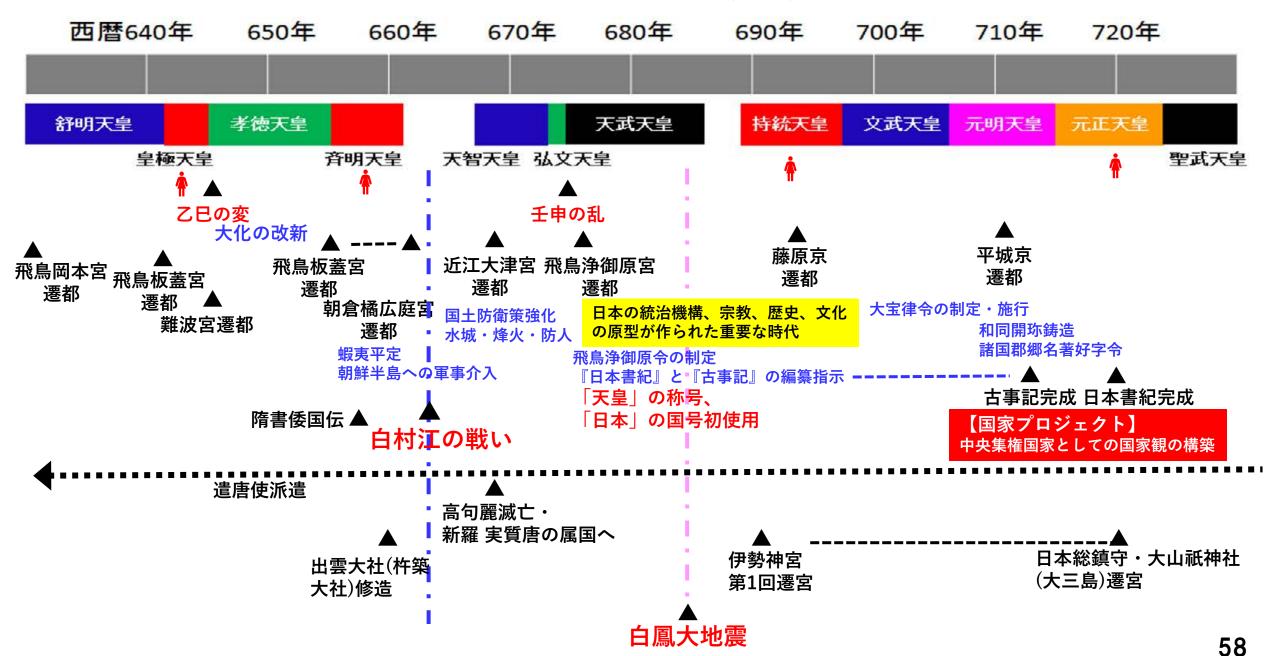
造船技術?

- 1.四国誕生の謎 理系の歴史学から見た四国の古代史
- 2.魏志倭人伝とは
- 3.地形と気象から読み解く邪馬壹国までの経路
- 4.倭国の風俗から読み解く邪馬壹国
- 5.倭国滅亡の謎 南海トラフを震源とした超巨大地震『白鳳大地震』の記憶
- 6. 三世紀当時の丸亀周辺
- 7.さいごに:渡来人の謎/戦艦扶桑の謎

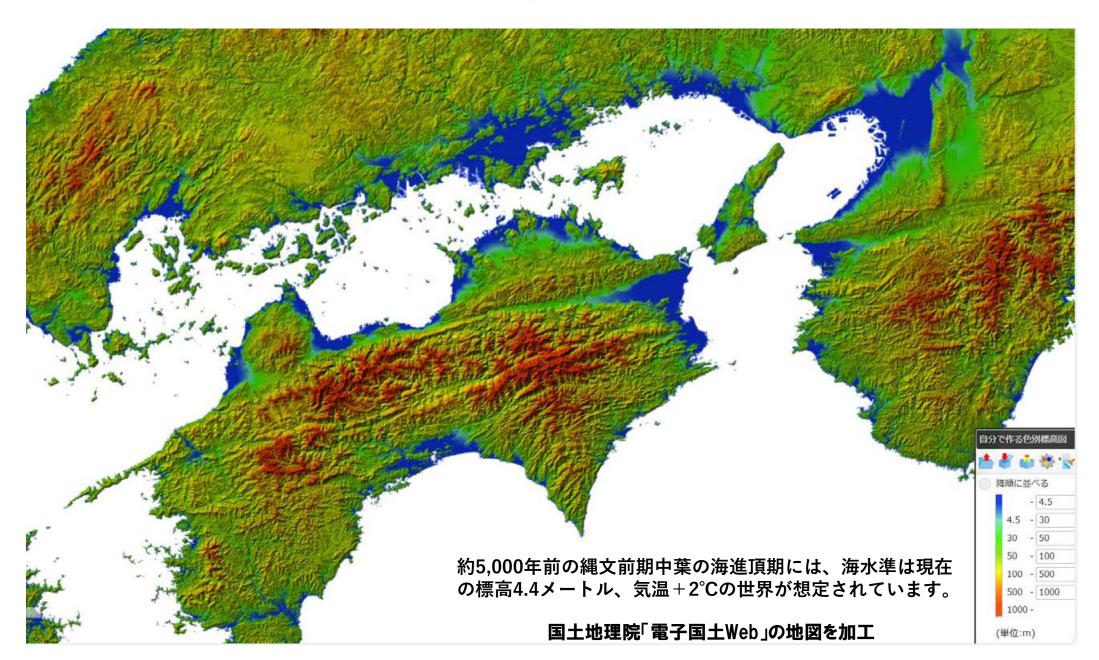
## 連合国家「倭国」から中央集権国家「日本」へ

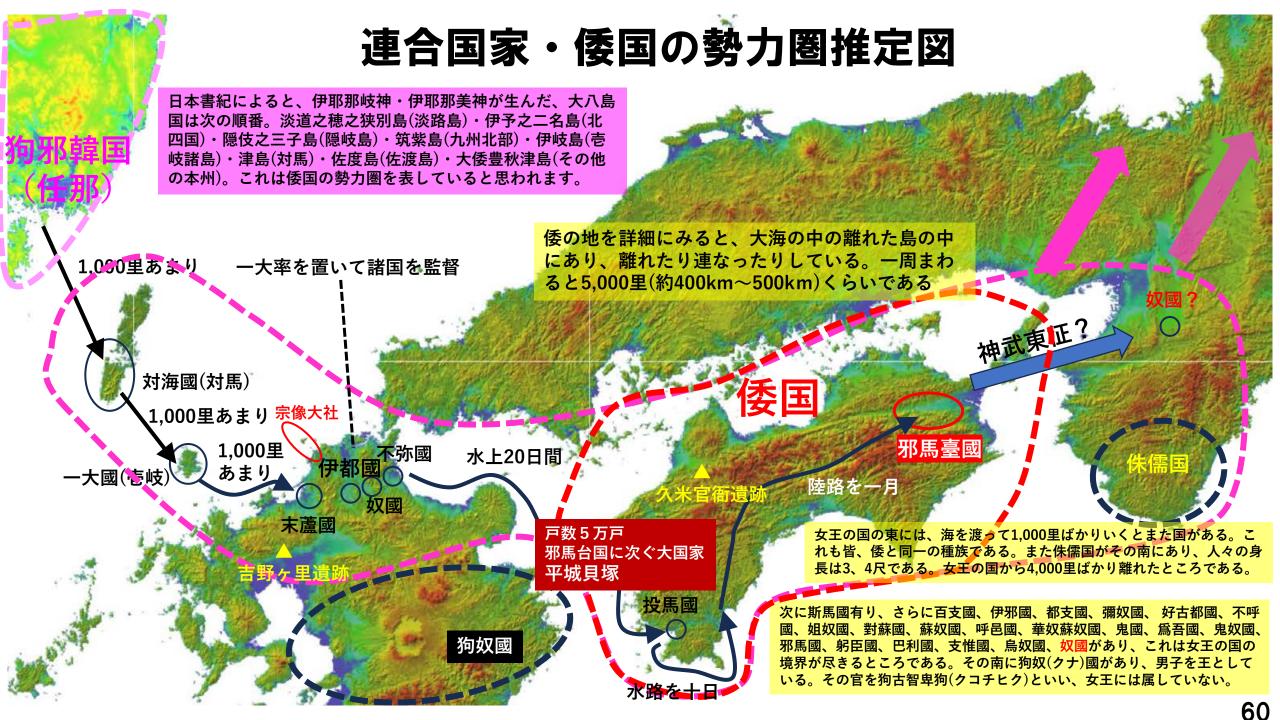


## 激動の7世紀後半~8世紀初頭:倭国から日本国へ

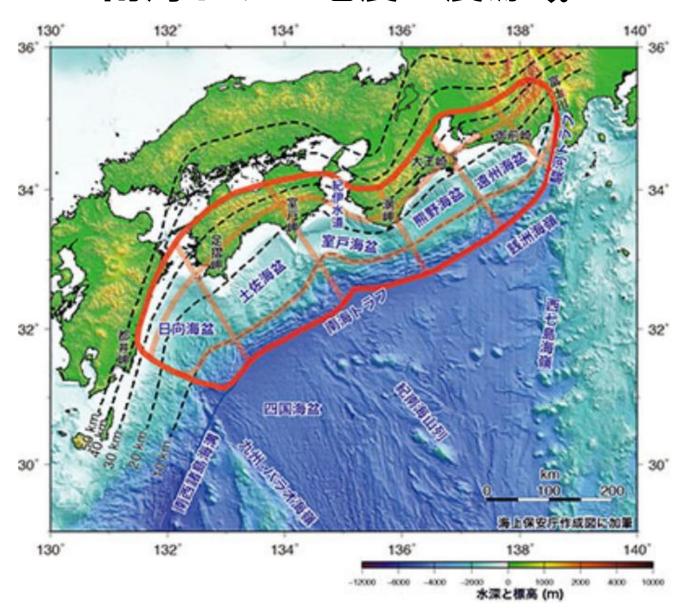


# 縄文海進(約5,000年前)時の地形

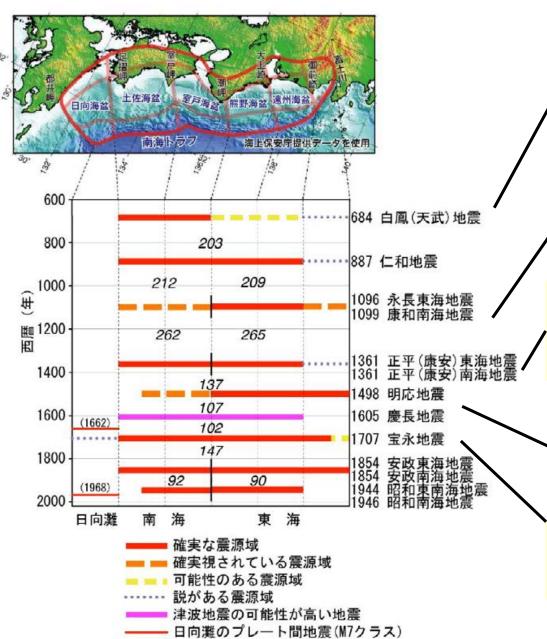




# 南海トラフ地震の震源域



## 過去に発生した南海トラフ地震の震源域の時空間分布



『日本書紀』には天武天皇13年10月14日(西暦684年11月26日)、南海トラフを震源とする巨大地震が発生したことが記載されていて、諸国で山崩れ、河湧き、百姓倉、寺塔、神社の崩壊が多く発生。人畜の死傷多数発生し、津波の来襲により土佐の田畑約12平方kmが海中に沈んだと書かれています。また、その際に「伊予湯泉や牟婁湯泉(南紀白浜温泉と推定)が没れて出でず」との被害状況が記載されています。しかし、阿波国の被害の記述は何故か書かれていません。

承徳3年/康和元年(1099)1月24日、地震により、土佐では田千余町がみな海に沈む。阿波の被害記録は残っていません。

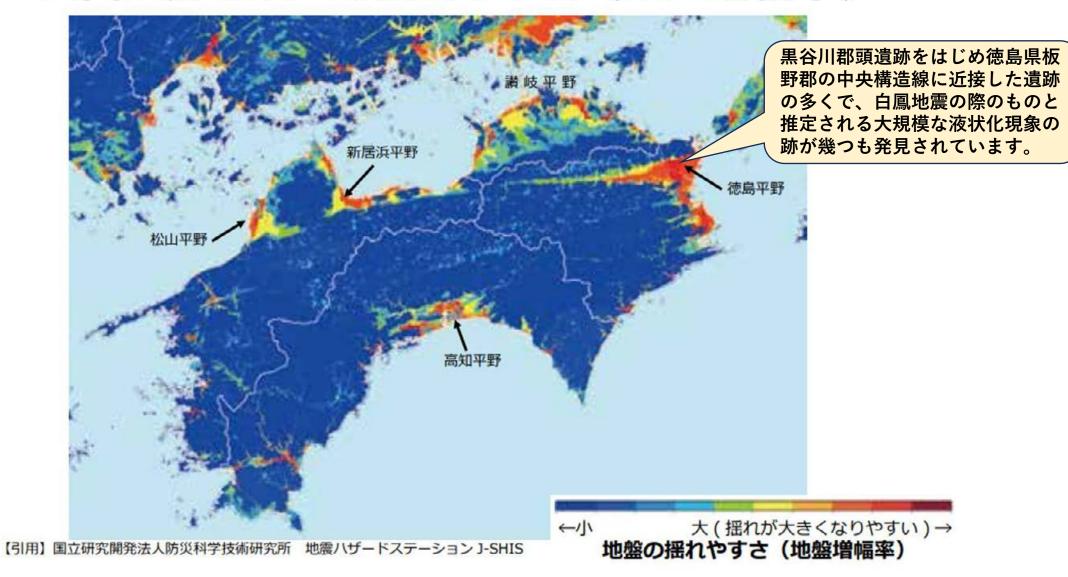
康安元年/正平16年(1361)6月24日、地震により、諸国の堂塔の破損破壊 多し。津波が沿岸を襲い、摂津、阿波、土佐で甚大な被害が発生。由岐では 津波により流出1,700戸、流死60余人。鳴門海峡では一時海水がなくなり、余 震多しという記録が残っています。

慶長9年(1604)12月16日、ほぼ同時に2つの地震が起きたとみられ、津波は犬吠岬から九州に至る太平洋沿岸を襲った。阿波鞆浦では波高10丈(約30m)、死者100余人、宍喰では波高2丈(約6m)、死者1,500余人という記録が残っています。

宝永4年(1707)10月4日、我が国地震史上最大級の地震が発生した。地震と 津波の被害は東海道から九州に至り、全体で死者4,900人、潰家29,000戸に及 んだ。徳島では630戸が倒壊し、津波により全滅した村もあったようです。

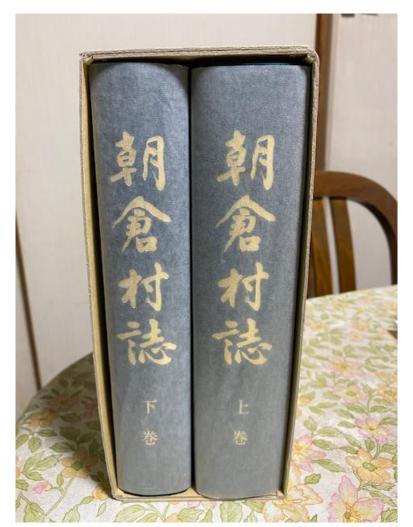
「南海トラフの地震活動の長期評価(第二版)」(地震調査研究推進本部)

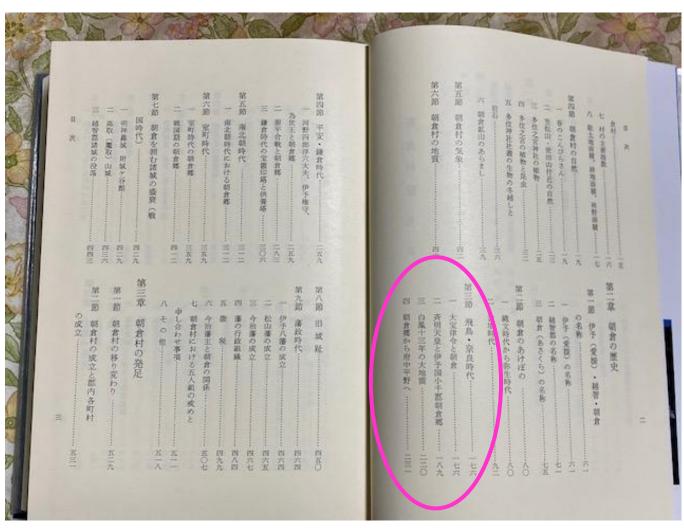
## 四国地方の地盤の揺れやすさ(地盤増幅率)



国立研究開発法人防災科学技術研究所 地震ハザードステーション J-SHISより引用

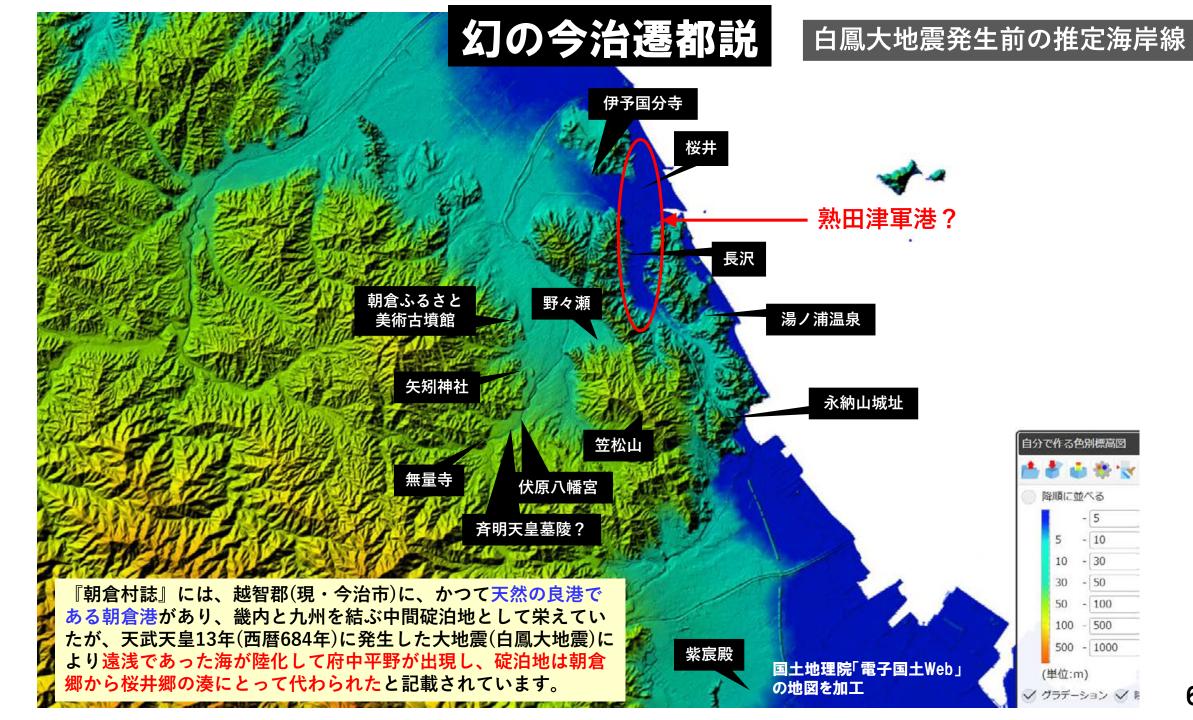
## 朝倉村誌...1986年編纂





上巻第二章『朝倉の歴史』(全460ページ)で、縄文時代から飛鳥・奈良時代にかけての記述が 180ページと多いことが特徴。うち、「斉明天皇と伊予国小千郡朝倉郷」の項は32ページ。





# 現在の今治市長沢付近



海抜Oメートルの低湿地帯が広がり、JR予讃線の高い築堤が通っています。

## 久米官衙遺跡群(愛媛県松山市来住町)

久米官衙遺跡群は松山市東部の来住台地にある地方官衙遺跡。

東西約500m、南北約400mに渡って広がる広大な敷地の、日本の古代史上、最古かつ最大級規模の本格的な地方官衙の跡。 天皇中心の国家体制整備が進みつつあった7世紀後半の地方における状況を窺い知ることができる、全国的にも珍しい遺跡。



久米官衙遺跡近くからは5世紀 のものと推定されるパン小麦の 遺物が発見されています。



一辺約109m(1町)四方の回廊上遺構。 正倉院や政庁などの主な施設は、基本 的にこの外郭施設で囲われた敷地の中 に設けられていました。





7世紀の終わりにこの 大規模地方官衙は忽然 と姿を消します!

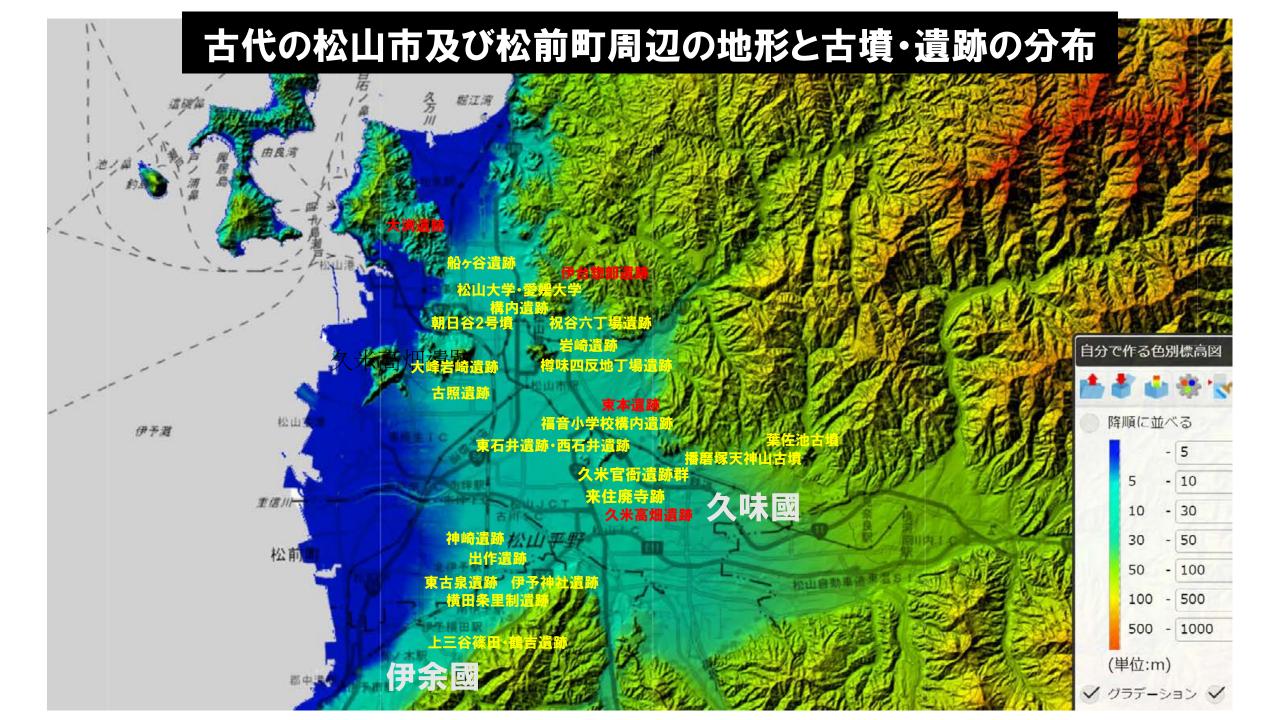






- 1.四国誕生の謎 理系の歴史学から見た四国の古代史
- 2.魏志倭人伝とは
- 3.地形と気象から読み解く邪馬壹国までの経路
- 4.倭国の風俗から読み解く邪馬壹国
- 5.倭国滅亡の謎 南海トラフを震源とした超巨大地震『白鳳大地震』の記憶
- 6. 3世紀当時の松山市及び松前町周辺
- 7.さいごに:渡来人の謎/戦艦扶桑の謎





# 松山の歴史は慶長8年(1603年)から!①

文禄3年(1594年) 豊臣秀吉の子飼衆で、賤ヶ岳の七本槍・七将の1人の加藤嘉明が文禄・慶長の役(俗に言う"朝鮮征伐")の功により10万石で伊予国正木城(現在の伊予郡松前町)城主として入城。

慶長5年(1600年) 加藤嘉明は関ヶ原の戦いで東軍(徳川軍)に味方し、石田三成の本隊と戦って武功をあげ、その戦功により20万石に加増。

慶長6年(1601年) 道後平野(松山平野)の中にポツンと立つ勝山の山頂(海抜132メートル)に城を建造する許可を徳川家康より得て、築城に着手。勝山への築城にあたり、加藤嘉明は、重臣・足立重信を普請奉行に任じ、『伊予川(現在の重信川)の氾濫を防ぎ、要害に備え、城下町の繁栄を促し、近在の田畑の灌漑に活用できるように改修せよ』と命じた。

主君・加藤嘉明から伊予川をはじめとした河川の改修を命じられた足立重信は、すぐに綿密な地形調査を行い、湯山川 (現在の石手川)の流れを変えて、これを伊予川(重信川)と合流させるという大規模な河川改修工事に着手。湯山川の流路 を南に変更させるため、今は岩堰と呼ばれている箇所にかつてあった数十メートルの巨大な岩石を切り崩し、その巨大 な岩を使って流れを堰き止め、それにより河川の流路を少し南方に変えてしまうという途方もない工事を実施。

慶長8年(1603年) 河川の付け替え完了。これにより水害を防ぎ、流域に五千町歩(約5,000ヘクタール)にも及ぶ広大な耕作地を生み出し、さらには松山城の防衛線(濠)を作り城下町の建築地を築くことにも成功。加藤嘉明はそれを見届けたうえで勝山に新しい城を築城すること、同時に城下町の整備にも着手。加藤嘉明は本拠地をそれまでも正木(現在の松前町)から勝山に移すことを正式に決定し、その勝山に築城中の城のことを「松山城」と命名。また、これを機にその周辺の地名も勝山から「松山」と改名し、松山という地名が公式に誕生。

ちなみに、足立重信はその松山城の築城と松山の城下町の建設にも引き続き普請奉行として関わり、その辣腕を奮った。

# 松山の歴史は慶長8年(1603年)から!②



湯築城跡



松山城(勝山城)



正木(松前)城跡





岩堰

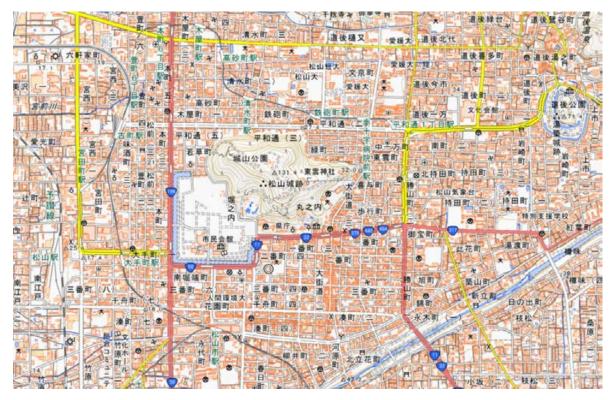


石手川公園駅



石手川

## 緻密に計画され整備された松山の城下町



松山市中心部の地図(国土地理院ウェブサイトの地図を引用)

ところどころに城下町時代の地名が残されています。城山を中心に 都市が計画的に整備されたのが、よくわかります。







松山城下図屏風…愛媛県歴史文化博物館所蔵

江戸時代の松山の城下町の様子が描かれていて、その中の現在の松山市駅の南側を流れる中ノ川と湊町や千舟町の町並みも描かれています。

中ノ川は水運のために掘削された人工の運河で、城下と三津港を結んでいました。30メートルを超える標高差を克服するため、パナマ運河のような水位調整用の閘門(こうもん)が何箇所か設けられていました。

## 伊予鉄道は現存する日本で2番目に古い歴史を持つ老舗私鉄

創立:明治20年(1887年) 日本で初めての軽便鉄道、および中国四国地方で初めての鉄道 ちなみに、新橋〜横浜間に日本最初の鉄道が開通したのが明治5年(1872年)



- 1.四国誕生の謎 理系の歴史学から見た四国の古代史
- 2.魏志倭人伝とは
- 3.地形と気象から読み解く邪馬壹国までの経路
- 4.倭国の風俗から読み解く邪馬壹国
- 5.倭国滅亡の謎 南海トラフを震源とした超巨大地震『白鳳大地震』の記憶
- 6. 三世紀当時の丸亀周辺
- 7.さいごに:渡来人の謎/戦艦扶桑の謎

## 安房国一宮 安房神社(千葉県館山市)



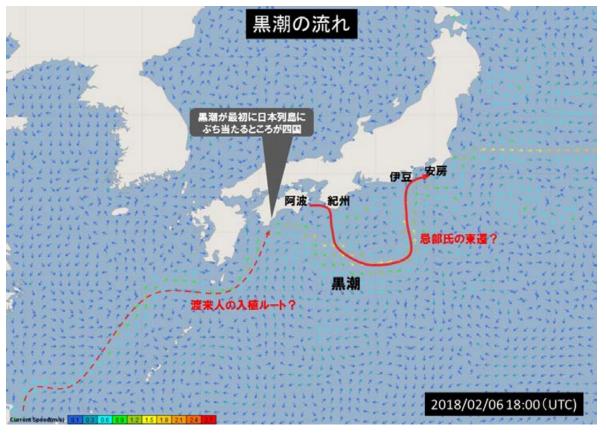


社伝によると、安房神社の創建は神代の時代に遡り、神武天皇元年に忌部氏の祖神とされる天太玉命(あめのふとだまのみこと)の孫の天富命(あめのとみのみこと)が阿波忌部氏の半分を率いて四国の阿波地方(現在の徳島県)から黒潮に乗って房総半島の南端のこの地に上陸し、当地を開拓した後に布良浜の男神山・女神山に祖神である天太玉命とその后神である天比理刀咩命(あめのひりとめのみこと)を祀ったとされている。

### 【由緒書き】

(前略)。安房開拓の神として当社の下の宮の祀らるる天富命は、天太玉命の御孫にあたらせられる。天富命は四国の阿波国忌部族の一部を割いて関東地方に大移動を起こし、最初に占拠されたのが房総半島の南端、すなわち現在の安房神社の鎮座地であって、ここに本拠を定めて祖神天太玉命の社を立てた後、次第に内地の方に進み、この半島に麻・穀を播殖し、その産業地域を拡められたのである。(後略)

安房神社の主祭神は天太玉命(あめのふとだまのみこと)、すなわち忌部氏(斎部氏)の祖神です。共に祀られている神は天太玉命の后神である天比理刀咩命(あめのひりとめのみこと)、さらには忌部五部神である、櫛明玉命(くしあかるたまのみこと:出雲忌部の祖)、天日鷲命(あめのひわしのみこと:阿波忌部の祖)、彦狭知命(ひこさしりのみこと:紀伊忌部の祖)、手置帆負命(たおきほおいのみこと:讃岐忌部の祖)、天目一箇命(あめのまひとつのみこと:筑紫忌部・伊勢忌部の祖)という5人の神様





## 古代の関東地方南部



# 千葉県芝山古墳群(渡来人埴輪)







## 戦艦扶桑の謎



扶桑(ふそう)は、大日本帝国海軍の戦艦で扶桑型戦艦の1番艦。日本独自の設計による初の超弩級戦艦でした。

全長205.1メートル、全幅28.68メートル。排水量は基準30,600トンという超大型戦艦で、35.6cm連装砲6基12門と15cm単装砲16門、53cm水中魚雷発射管6門等を備えていました。広島県の呉海軍工廠で建造され、進水は大正3年(1914年)、就役は翌大正4年(1915年)。超弩級と呼ばれる戦艦としては扶桑型と並行して建造された金剛型巡洋戦艦(金剛、比叡、榛名、霧島)、その後建造された伊勢型(伊勢、日向)、長門型(長門、陸奥)、そして大和型(大和、武蔵)があり(加賀と信濃は航空母艦に改装)、第二次世界大戦中、太平洋海域の多くの戦闘に参加しました。

最後は1944年10月25日にフィリピンのレイテ沖海戦においてスリガオ海峡でアメリカ海軍の駆逐艦隊が放った魚雷の一斉攻撃により撃沈してしまいました。

大日本帝国海軍の超弩級戦艦には日本国の旧律令国名が艦艇名に付けられていました。

扶桑型:扶桑 - 山城伊勢型:伊勢 - 日向長門型:長門 - 陸奥

•加賀型:加賀(→航空母艦) - 土佐(未完成)

•紀伊型:紀伊(未起工) - 尾張(未起工) •大和型:大和 - 武蔵 - 航空母艦信濃

上記の戦艦群の中で、旧律令国に存在しないのが「扶桑」でした。 その扶桑とは一体どこのことなのか、謎が謎を呼んでいました。 日本独自の設計による初の超弩級戦艦ということもあり、扶桑には 大日本帝国海軍として強い思いが込められていたはずなのですが、 いまだにその謎は解明されていません。一説には、扶桑の艦名の由 来は日本国の古い異名の一つであるとされています。

Wikipediaによると、扶桑とは、中国の伝説で東方の果てにある巨木 (扶木、扶桑木、扶桑樹とも)のことであると書かれています。またその巨木の生えている土地を扶桑国というとも。後世、扶桑・扶桑国は、中国における日本国のことを指す異称となり、それを受けて日本でも自国のことを扶桑国と呼ぶことがあった…と書かれています。また、古代、東洋の人々は、不老不死の仙人が棲むというユートピア「仙境=蓬莱山・崑崙山」に憧れ、それと同時に、太陽が毎朝若々しく再生してくるという生命の樹「扶桑樹」にあやかろうとしたとも書かれています。この扶桑樹とはクスノキ(楠)のことではないか…と私は考えます。クスノキの枝葉を蒸留して得られる無色透明の固体のことを"樟脳"と言い、今でも防虫剤や医薬品等に広く使用されていますから。

ということで、扶桑とは阿波国から讃岐国、伊予国にかけての旧倭国のことだったのではないか…と私は勝手に妄想しています。クスノキの巨木はいっぱいありますから。

81

# 歴史はファンタジーではなくて、サイエンスです!!

# ご清聴、ありがとうございました

### 絶賛発売中!



